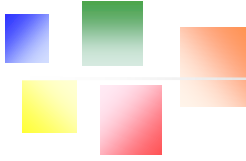


令和元年 6 月 20 日現在



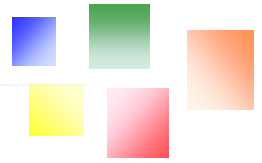
豊川市行政経営改革プラン

豊川市行政経営改革アクションプラン

具体的取組評価結果票

(平成30年度分)





目 次

1	全体の取組結果	・ ・ ・ ・	1
2	重点取組の評価結果	・ ・ ・ ・	3
3	重点取組以外の評価結果	・ ・ ・ ・	2 8



1 全体の取組結果

■概要

行政経営改革アクションプラン（平成30年度～平成32年度）で掲げた目標について、平成30年度における全体の取組結果の概要は、次のとおりです。

① 実施率について	■実施率：目標値95%以上（109件以上）⇒実績値95.6%（109件）
② 収入増加額・支出削減額について	■収入増加額・支出削減額：目標値2.5億円以上⇒実績値3.3億円 ■目標を超えるもの：3件 ■目標に至らないもの：7件（財政・資産の別掲分含む。）
③ 将来像別の評価結果による点数について	■進捗度評価点：67.0点／100点 ■効果の達成度評価点：67.4点／100点
④ 進捗度評価（計画と比較した進捗度の評価）について	■3点（計画を超える進捗）：2件 ■1点（計画に至らない進捗）：0件 ■0点（中止・保留）：0件
⑤ 効果の達成度評価（目標とする効果と比較した達成度の評価）について	■3点（目標を超える効果達成）：4件 ■1点（目標に至らない効果達成）：1件 ■0点（工程どおりに開始せず、効果がないもの）：0件

■集計結果

※目標の件数は、次年度以降のアクションプランでは、全体の取組件数の変更に伴い変更されますが、割合は変更されません。

① 実施率（具体的取組の実施状況（検討などを含まない。））

全114件の取組中、実施状況が「取組開始」「取組中」「実施」「完了」となった件数及び割合

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標	件数	101件以上	105件以上	109件以上	111件以上	114件
	割合	89%以上	92%以上	95%以上	97%以上	100%
実績	件数	104件	108件	109件		
	割合	92.0%	94.7%	95.6%		

② 収入増加額・支出削減額（取組みを実施しなかった場合と比較して得られた収入増加額と支出削減額の合計）

全114件の取組中、収入増加額・支出削減額が得られた合計額

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標	2.5億円以上	2.5億円以上	2.5億円以上	2.5億円以上	2.5億円以上
実績	4.1億円	2.9億円	3.3億円		

③ 将来像別の評価結果による点数

合計で100点満点。全て計画どおり、目標どおりの場合：66.7点。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
進捗度評価点	67.6点	67.5点	67.0点		
効果の達成度評価点	68.9点	67.5点	67.4点		

④ 進捗度評価の状況

全ての取組における進捗度評価（計画と比較した進捗度の評価）の件数、将来像別評価点数（将来像ごとに20点を配点し、合計で100点満点。全て計画どおり、目標どおりの場合：66.7点）

※進捗度評価 3点：計画を超える進捗 2点：計画どおり進捗 1点：計画に至らない進捗 0点：中止・保留

<自己評価>

	3点	2点	1点	0点	計	点数
将来像1市民・協働	0件	19件	0件	0件	19件	13.3点
将来像2情報・共有	0件	19件	0件	0件	19件	13.3点
将来像3財政・資産	0件	32件	0件	0件	32件	13.3点
将来像4組織・仕組	0件	15件	0件	0件	15件	13.3点
将来像5人材・品質	2件	27件	0件	0件	29件	13.8点
合計	2件	112件	0件	0件	114件	67.0 点

<審議会評価>

	3点	2点	1点	0点	計	点数
将来像1市民・協働						
将来像2情報・共有						
将来像3財政・資産						
将来像4組織・仕組						
将来像5人材・品質						
合計						

⑤ 効果の達成度評価の状況

全ての取組における効果の達成度評価（目標とする効果と比較した達成度の評価）の件数、将来像別評価点数（将来像ごとに20点を配点し、合計で100点満点。全て計画どおり、目標どおりの場合：66.7点）

※効果の達成度評価 3点：目標を超える効果達成 2点：目標どおりの効果達成
1点：目標に至らない効果達成 0点：工程どおり開始せず、効果がないもの

<自己評価>

	3点	2点	1点	0点	計	点数
将来像1市民・協働	1件	17件	0件	0件	18件	13.7点
将来像2情報・共有	0件	19件	0件	0件	19件	13.3点
将来像3財政・資産	3件	27件	1件	0件	31件	13.8点
将来像4組織・仕組	0件	14件	0件	0件	14件	13.3点
将来像5人材・品質	0件	27件	0件	0件	27件	13.3点
合計	4件	104件	1件	0件	109件	67.4 点

<審議会評価>

	3点	2点	1点	0点	計	点数
将来像1市民・協働						
将来像2情報・共有						
将来像3財政・資産						
将来像4組織・仕組						
将来像5人材・品質						
合計						

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	1 市民・協働	主管課	行政課
施策	① 市民参画の推進		
改革手段	1 市民参画意識の醸成		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	11

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
1	重点1	パブリックコメント手続制度の推進	広報媒体、公共施設等を利用し、パブリックコメント手続の実施を周知する。					・行政への参画意識の向上	行政課	
				市役所コピー等でのパブリックコメント手続の実施						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・市ホームページや広報により、市民に対し周知・啓発を行う。 ・制度実施のPRを推進することにより、資料の実配付部数を前年度より増加させる。 ・職員研修などにより、職員の制度への理解を深めるとともに、事務手続を適切に行う。				
取組内容	【取組中】 ・市ホームページや市広報により、パブリックコメント手続の実施を周知した。 ・中央図書館の展示イベントに参加し、パブリックコメントに関する制度の周知を行った。 ・制度について理解を深めるとともに、事務手続を適切に行うため、職員に対し説明会を行った。				
取組による効果	・パブリックコメント手続の実施について複数の方法により、市民への周知を図ることができた。 ・職員の啓発及び研修により、制度への理解を深めることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・実施したパブリックコメント手続の1件当たりの資料配付数は、前年度並みであったが、複数の方法による市民への周知や、職員への研修により、パブリックコメント手続について啓発することができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・パブリックコメント手続のさらなる推進のため、引き続き市民や職員への周知・啓発に取り組む必要がある。
今後の具体的な取組予定	・市ホームページや広報により、市民に対し周知・啓発を行う。 ・職員研修などにより、職員の制度への理解を深めるとともに、事務手続を適切に行う。 ・制度のさらなる啓発を図るための施策について検討を行う。

具体的取組評価結果票 (平成30年度分)

将来像	1 市民・協働				主管課	市民協働国際課
施策	① 市民参画の推進					
改革手段	2 市民参画機会の増加					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	12

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
1	重点2	市民参画機会の増加	町内会の加入促進策を実施し、町内会の積極的な取組に対して支援する。	加入促進策や支援策の検討・実施				・地域全体でのまちづくりの推進	市民協働国際課	
									関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	- 引き続き、市民課窓口にて、転入転居手続きの際に町内会加入チラシを配付し、町内会加入促進を図る。 - 社会科授業だけでなく総合学習をはじめとした様々な授業において、自分たちが住む地域について触れて学ぶ時期である小学校3年生を対象に、町内会啓発冊子により町内会活動の重要性と、自分たちの住む地域への愛着心とまちづくり意識を育てる啓発を行う。 「町内会加入促進活動事業費補助」を活用し、町内会が主体となった独自の加入促進活動に対して支援を行う。 - 引き続き、連区・町内会長の負担軽減等に努め、町内会活動の活性化に繋げる。 - 引き続き、三者協定を活用し、集合住宅入居者や単身世帯に対する加入促進を図るとともに、建築課と連携して市営住宅の町内会加入率の向上に努める。				
取組内容	【取組中】 - 町内会啓発冊子を作成して全小学校に配布し、小学校の社会科授業で、自分たちの住む地域への愛着心とまちづくり意識を育てる啓発を行った。また、町内会役員等と協働して、2校（御油小、長沢小）で出前講座を実施した。 - 市内の事業所や販売店などの協力を得て「町内会応援事業」を実施し、町内会活動に対する財政的支援を行った。 - 町内会独自の加入促進活動を支援する「町内会加入促進活動事業費補助」を利用し、3町内会（上宿町内会、四ツ谷一区町内会、西方町内会）が加入の取り組みを行った。 - 市民課窓口にて、転入転居手続きの際に町内会加入チラシを配付した。また、年度末の2日間に市民課窓口の隣で町内会への勧誘活動を行ったことや、ラジオにより加入PRを行い、町内会への加入促進を図った。 - 外国人が参加する研修において、町内会の説明をするとともに、加入促進を図った。 - 市主催の会議への出席依頼や町内会への配布物を減らし、連区長・町内会長の負担軽減を図った。 - 三者協定を活用した加入促進PR活動を実施した。（JAひまわり・宅建協会東三河支部への協力依頼、啓発物品配布） - 建築課と連携して、市営住宅入居手続き時に町内会加入申込の受付を実施した。				
取組による効果	- 市内の小学校26校のうち、22校の小学3年生の社会科授業等に副読本として町内会啓発冊子が活用され、そのうち2校では町内会役員と協働して授業の中で出前講座を行うことができたことで、子供たちに意識の啓発を図ることができた。 - 町内会応援事業を利用して、13町内会がイベントでの弁当や懇親会の飲食代、事務用品の購入に割引などのサービス提供を受けており、町内会の財政的支援が図れた。 - 町内会加入促進活動事業補助を利用した3町内会において、夏祭りに併せて活動のPRを行ったことや、独自の町内会ガイドブックを作成・配布したことで17世帯の新規加入が得られた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	3点	目標を超える効果達成
取組に対する自己評価	- 新たな取り組みにより町内会活動の重要性のPRの強化を図るとともに、町内会活動を財政的に支援する体制を整えることができた。町内会加入率は下がったものの、多くの機会を捉えて各種加入促進事業を実施したことにより、町内会加入世帯数を増加することができたため、目標を超える効果達成度とした。 ■町内会加入率の推移（各4月1日現在） 平成29年 73.2%（外国人市民を含めた加入率）平成30年 72.3%（外国人市民を含めた加入率） ■町内会加入世帯数の推移（各4月1日現在） 平成29年 53,789世帯（外国人世帯を含む）平成30年 53,937世帯（外国人世帯を含む）				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—	効果達成度評価点	—
取組に対する外部評価・意見			

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・価値観や生活様式が多様化したことにより、地域コミュニティのつながりが弱体化しており町内会加入率も減傾向にあるため、今後も取組みを継続するとともに、積極的に町内会加入促進に取り組む町内会に対して支援制度の活用を推進する。
今後の具体的な取組予定	- 引き続き、市民課窓口にて、転入転居手続きの際に町内会加入チラシを配付し、町内会加入促進を図る。 - 引き続き、自分たちが住む地域について触れて学ぶ時期である小学校3年生を対象に、連区・町内会と連携して町内会啓発冊子を活用した出前講座を実施し、町内会活動の重要性と自分たちの住む地域への愛着心とまちづくり意識を育てる啓発を行う。 - 引き続き、「町内会加入促進活動事業費補助」を活用し、町内会が主体となった独自の加入促進活動に対して支援を行う。 - 引き続き、町内会応援事業を実施し、町内会活動に対する財政的支援を行う。 - 引き続き、連区・町内会長の負担軽減等に努め、町内会活動の活性化に繋げる。 - 引き続き、三者協定を活用し、集合住宅入居者や単身世帯に対する加入促進を図るとともに、建築課と連携して市営住宅の町内会加入率の向上に努める。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	1 市民・協働	主管課	市民協働国際課
施策	② 市民協働の推進		
改革手段	1 協働の組織づくり		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	13

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				29	30	31	32			
1	重点3	とよかわ市民協働推進計画の推進	とよかわ市民協働推進計画を推進し、協働のまちづくりに取組む。	>>>>>>>>>>>>>>				・地域全体でのまちづくりの推進	市民協働国際課 関係各課	
			・とよかわ市民協働基本方針に基づく実施計画策の実施（～平成29年度） ・とよかわ市民協働推進計画に基づく実施策の展開（平成30年度～）							

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・新たに策定した「とよかわ市民協働推進計画」の推進を図る。				
取組内容	【取組中】 ・市民活動団体の提案型事業として、市民協働推進事業の公開審査（プレゼン）を行った。 ・とよかわボランティア・市民活動センターだよりを発行した。（年4回） ・企業などが発行する情報紙へ市民活動情報を掲載した。（述べ22回） ・気軽に市民活動へ参加するきっかけづくりとして、ボランティア適性診断シートを作成し、おいでん祭などのイベントで活用した。 ・市民向け協働研修（出前講座）と職員向け協働研修を実施し、幅広く協働への理解を深めることができたとともに、協働意識の醸成を図った。 ・愛知大学の学生と連携して、ツイッターの開始や広報レポーターを養成するなど、市民活動情報の収集・発信の強化を図った。 ・各課に市民協働推進員を配置し、協働事業の施策に向けて各課との連携の強化を図った。 ・協働ガイドを作成（15,000部）し、公共施設や企業への設置や、出前講座で配付を行い、協働の意識啓発を図った。				
取組による効果	・市民活動団体や地縁組織の7団体が、他団体や企業などいっしょに補助金を活用して協働によるまちづくり活動を行うことができた。 ・情報紙へ市民活動情報を掲載することで、市民活動団体が実施するイベントへの参加者を増やすことができた。 ・協働ガイドを活用して積極的に市民向け協働研修（出前講座）を開催し（119名が参加）、市民協働の意識啓発の強化を図ることができた。 ・各課に市民協働推進員を設置して研修を2回実施（述べ96名参加）するとともに、市民協働推進事業の公開審査に関係課職員が参加するなど、全庁的に市民協働を推進する体制を整備することができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・とよかわ市民協働基本計画に基づく各種取り組みを推進したため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・推進計画に基づき実施した事業について、取り組みの成果や課題、進捗状況を評価し、より効率的かつ効果的な施策及び事業の展開を図る必要がある。
今後の具体的な取組予定	・引き続き、「とよかわ市民協働推進計画」の推進を図る。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	1 市民・協働	主管課	人事課
施策	③ 企業など他団体との連携の強化		
改革手段	1 企業などとの連携		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	15

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
3	重点4	企業など他団体との人事交流	市と企業で相互に職員を派遣・受入を行う。	>>>>>>>>>>>>>>>>				・他団体との連携の強化 ・民間の知識の習得	人事課	
				民間への短期派遣研修の実施						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・平成30年度は、引続き豊川青年会議所及び豊川商工会議所青年部へ各1名を派遣し、民間派遣研修として「早稲田大学マニフェスト研究所人材マネジメント部会」へ参加させる。また、豊川市社会福祉協議会からの職員を継続して受入れる。				
取組内容	【取組中】 ・豊川青年会議所及び豊川商工会議所青年部へ各1名を派遣した。 ・「早稲田大学マニフェスト研究所人材マネジメント部会」へ3名を派遣した。 ・豊川市社会福祉協議会から職員1名を受入れた。				
取組による効果	・公務職場では学ぶことのできない民間企業の手法等を学び、異業種交流を通じ、職員自らの気づきによる行政視野の拡大と意識改革の促進を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・公務職場では学ぶことのできない民間企業の手法等を学び、異業種交流を通じ、職員自らの気づきによる行政視野の拡大と意識改革の促進を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点			効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・豊川青年会議所への派遣については、参加日数が多いなど職員の負担が大きいため、受講者本人、所属や家族の理解が必要である。 ・これらの研修により得られたものを本市の業務に還元することが重要である。
今後の具体的な取組予定	・平成31年度は、引続き豊川青年会議所及び豊川商工会議所青年部へ各1名を派遣し、民間派遣研修として「早稲田大学マニフェスト研究所人材マネジメント部会」へ参加させる。また、豊川市社会福祉協議会からの職員を継続して受入れる。

具体的取組評価結果票 (平成30年度分)

将来像	1 市民・協働	主管課	企画政策課
施策	③ 企業など他団体との連携の強化		
改革手段	2 大学などとの連携		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	16

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				29	30	31	32			
1	重点5	大学連携の推進	大学の知識や人材を活用し、質の高い行政運営を図る。					・専門的な知識の活用 ・効果的な事業の実施	企画政策課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・前年度と同様の取組みを継続するとともに、希望調査や他事業との連携した新たな活用手法に係る検討により、大学連携の活用の促進に取り組む。				
取組内容	【取組中】 ・平成24年3月に愛知大学と締結した協定を継続し、各種計画策定等に委員として参画してもらった。 ・中部大学と豊川市まちなか活性化に関する実証研究で連携を実施するとともに、愛知大学とも新たに連携を実施した。 ・その他各大学と審議会などの委員就任、大学生インターンシップ受入れなどで連携した。 ・愛知大学と新たに開始を希望する連携事業について調整を実施し、1事業について実施し、2事業について連携が開始の見込みとなった。				
取組による効果	・各大学の専門的な知識の活用及び人材の協力を得ることにより、事業の深化の推進及び効果的な事業の実施につながった。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・愛知大学などと18事業で連携を図ることができ、また、新たな連携事業の開始について進めることができたため、目標どおりの達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—	効果達成度評価点	—
取組に対する外部評価・意見			

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・現在実施している事業に加え、新たな連携を増やすことが求められる。
今後の具体的な取組予定	・前年度と同様の取組を継続するとともに、希望調査並びに他事業との連携した新たな活用手法に係る検討及び大学連携の活用の促進に取り組む。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	1 市民・協働	主管課	企画政策課
施策	③ 企業など他団体との連携の強化		
改革手段	3 広域行政の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	17

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
2	重点項目	他自治体との連携の推進	各分野で他自治体との連携を推進する。	>>>>>>>>>>>>>>>>				・業務対応力の強化	企画政策課	
				----- 各分野で連携の実施						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・他自治体との連携した取組による業務の効率化や、情報共有等による業務の取組に係るレベルアップ等を目的として、引き続き他自治体等との連携を推進する。				
取組内容	【取組中】 ・「東三河広域連合」における共同事務処理の実施や「東三河5市後期高齢者・福祉医療事務担当者会議」等を始めとした各種分野で引き続き他自治体等との連携を推進する。				
取組による効果	・各分野で連携することにより、業務の効率化を図るとともに、業務の対応力が強化された。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・269件の連携体制が継続されており、業務対応力を強化することができているため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・連携体制が構築されている業務について、連携体制を継続することが必要である。
今後の具体的な取組予定	・引き続き他自治体等との連携を推進する。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	2	情報・共有	主管課	企画政策課
施策	①	地域情報化の推進		
改革手段	1	地域情報化の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組			該当ページ	18

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
2	重点7	国の情報発信ツールの活用	地方創生に係る国の情報発信ツールを活用する。	>>>>>>>>>>>>>>>>				・効果的な情報発信 ・定住・交流の促進	企画政策課	
				全国移住ナビ等への情報掲載						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・新たな取組みについて掲載を行うとともに、既に掲載した情報の更新を逐次行っていく。				
取組内容	【取組中】 ・県と連携して、実際に移住を果たされた方の意見の掲載の実施を進めるとともに、既に掲載した情報を更新した。制度改正や記載内容に修正が発生した際に適宜修正を実施。 ・閲覧数の調査方法について調整を実施し、アクセス状況について確認を行い、平成30年度においては第3四半期までにおいて519ビューの閲覧があった。				
取組による効果	・全国移住ナビを通じた移住の相談はこれまでにないが、スポーツの振興に係る取組み、文化財やグルメに関する情報発信ができた。 ・閲覧数について増加傾向を維持することができており、多くの方にPRを実施することができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・国及び県の情報発信ツールに新たな情報を加えて情報発信を行うことができたため目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・引き続き本市の特色や独自の取組について、情報発信を継続して行う必要がある。
今後の具体的 な取組予定	・新たな取組について掲載を行うとともに、既に掲載した情報の更新を逐次行っていく。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	2 情報・共有	主管課	秘書課
施策	② 広報機能の強化		
改革手段	1 広報機能の強化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	19

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主幹組織 関係組織	その他
				29	30	31	32			
3	重点項目	広報に関する意識改革、協働化・民間活用	職員を対象とした広報の意識改革を図る研修等や、民間アドバイザー等を活用した広報活動を行う。					・広報力の強化	秘書課	
			・研修会の開催 ・専門的な知識と経験を持つアドバイザーからのアドバイスを活用した広報活動							

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・広報・シティセールス推進員を中心に研修会などを定期的に開催し、職員の意識向上に努める。 ・市ホームページの積極的な活用を呼びかけながら、定期的な操作研修会を開催する。 ・新たな協働先となる民間誌等の調査・研究を進める。				
取組内容	【取組中】 ・豊川市出身アナウンサー・小原佳代子氏を招き、広報意識改革研修会（10月29日）を開催した（参加人数71人）・ウェブアクセシビリティの向上を図るため、ホームページ操作研修（11月20・21日）を開催した。（参加人数56人） ・地域情報誌「じもとマガジン」を発行するモストプランナーズの代表・牧野一氏を広報アドバイザーに委嘱し、広報担当職員の編集企画力の向上を図った。（計9回の特集校正） ・地域情報誌「豊川はなまる」を発行するプライズメントと協働し、市政情報の発信に取り組んだ。（毎月1回発行）				
取組による効果	・専門分野で活躍する講師の実践的なアドバイスにより、レイアウトや写真の使い方、表現方法など、効果的な情報発信についてスキルアップを図ることができた。 ・市ホームページのアクセシビリティに関する意識の向上を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・広報意識改革研修会の職員アンケートでは、参加者の97.0%が「参考になった」と回答するなど、職員の良い反応を得ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。 ・広報アドバイザーによる校正を経た特集号が愛知県広報コンクールで入賞を果たすなど、広報紙の評価を高めることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・研修等で得た知識や技術を日々の広報業務に反映できるように、職員一人ひとりの広報意識を高めていく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・引き続き研修会などを定期的で開催し、職員の広報意識の向上に努める。 ・市ホームページの積極的な活用を呼びかけながら、定期的な操作研修会を開催する。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

[illegible]

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・昨年度より実施している「政策間連携ワーキング」において事業の評価を行うことで、政策間の連携をさらに意識した事業説明及び評価の実施を図る。				
取組内容	【取組中】 ・庁内における評価の実施とともに、政策間の連携を図ることを目的としたワーキングを実施し、平成30年度は「豊川産農産物のプロモーション」、「交流促進（スポーツの新たな魅力創出、地域資源の磨き上げ、豊川公園の多機能化）」について、担当部課以外の職員が事業内容について理解するとともに、意見交換を実施した。				
取組による効果	・自らが担当する業務以外の事業に対する理解を深めるとともに、対市民への説明力向上が図られ、横断的な施策の実施に向けて理解を深めることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・担当課職員が事業説明を行う機会を得るとともに、担当課以外の職員の評価及び意見を聴取することで、事業の内容に係る説明力の向上に取り組み、客観的な評価や意見を基に連携した施策の実施に対する理解を深めることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・評価に加え、現在実施している政策の改良あるいは新たな提案を実施する等、新たな施策の実施に向けた手法のひとつとして確立させる取組が必要である。
今後の具体的な取組予定	・「政策間連携ワーキング」において事業の評価を行うことで、政策間の連携をさらに意識した事業説明及び評価の実施を図る。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	2	情報・共有	主管課	財政課
施策	③	説明責任と透明性の拡充		
改革手段	2	見える化の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組			該当ページ	21

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
2	重点10	予算編成過程の公開	予算編成の過程として各部課の要求状況や新規・重点事業の内容を公表する。					・予算編成過程の透明性向上	財政課 関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・予算編成の過程として各部課の要求状況や新規・重点事業の内容を公表する。				
取組内容	【取組中】 ・平成31年度予算編成において、各部から提出された予算要求書に基づき、一般会計当初予算要求状況として、予算編成方針、当初予算要求額、重点事業要求状況（各部署上位10事業）を平成30年11月30日にホームページに掲載、公表を実施した。 ・予算案を平成31年2月28日にホームページに掲載、公表を実施した。				
取組による効果	・予算編成の過程として各部課の要求状況や新規・重点事業の内容を公表することで、予算編成過程の透明性の向上が図られた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・計画どおり公表を実施できたため、目標どおりの達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ より分かりやすく、見やすい公開資料の検討をする必要がある。
今後の具体的な取組予定	・ 今後も現在の取組みを継続する。

具体的取組評価結果票 (平成30年度分)

将来像	3 財政・資産	主管課	企画政策課
施策	① 歳出の最適化		
改革手段	2 事務事業の見直し		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	24

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				29	30	31	32			
1	重点11	民間委託の活用	直営で実施している事務事業を民間委託する。	 民間に委託できる事業の検討				・経費の削減	企画政策課 関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き政策間連携ワーキング等において、官民連携の活用が図られるよう調整を行う。				
取組内容	【取組開始】 ・政策間の連携を図ることを目的として、市内関係団体と外部等の視点を取り入れ、事業間の連携等をテーマとして関係各課でワーキング（前期1事業、後期3事業）を行い、ワーキングで話し合った内容について実践を行った。				
取組による効果	・豊川産農産物のプロモーションにおいて、ひまわり農業協同組合等と連携して外部に意見を取り入れながら実施した。 ・スポーツ合宿誘致の取組みについて、豊川市観光協会、ひまわり農業協同組合等と連携を図って実施した。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・改革工程どおりに、民間に委託できることあるいは連携により効果的に取組むことができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—	効果達成度評価点	—
取組に対する外部評価・意見			

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・ワーキングの実施はもとより、政策間同士の連携及び民間の活用を実践し、さらに取組みを深化させる事により、官民連携の効果的な実施に向けた取組が必要である。
今後の具体的な取組予定	・引き続き政策間連携ワーキング等において、官民連携の促進が図られるよう調整を行う。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	3	財政・資産	主管課	企画政策課
施策	②	歳入の確保の強化		
改革手段	3	税収などの確保策の強化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組			該当ページ	28

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
5	重点12	とよかわ応援寄附金の確保	各種施策を講じること、ふるさと納税制度による本市への寄附金の増額を目指す。	>>>>>>>>>>>>>>>				・自主財源の確保 ・定住・交流効果の促進	企画政策課	
				取組実施						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ 随時、返礼品提供事業者の確保に努めることで本市への寄附金の増額を目指す。				
取組内容	【取組中】 ・ 国からの指示により、大幅な制度内容の変更を実施したが「ふるさと納税制度」における趣旨を踏まえ、適切な制度運用が図られるよう運用に取組んだ。 ・ 新たに「ガバメントクラウドファンディング」の取組みに着手し、新たな財源確保を実施した。				
取組による効果	・ 個人からの寄附（ふるさと納税）分については、件数ベースではガバメントクラウドファンディングの実施等により多くの支援者を集め、対前年度+163件（193→356件、+84.5%）の大幅増となったものの、金額ベースでは寄附者ごとの寄附金額にバラつきがあることから対前年度△1,692千円（9,207→7,515千円、△18.4%）の減少であった。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・ 平成31年6月から実施される「ふるさと納税に係る指定制度」により、制度運用の厳格化が予定される中で、本市独自の取組みである官民連携を主軸に置いた取組みをマスコミ等へPRを広く実施し、テレビ、新聞等で多く取りあげていただいたことにより、効果的な周知を実施することができ、寄附件数の増加に寄与した。 ・ また、AmazonPayや各種スマホ決済の早期導入など決済手段の多様化や、クラウドファンディングなど先進的な取組みを進めたことにより、多くの支援者を集め平成31年度につながる事業展開ができたと考え、計画通りの進捗度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・指定制度を踏まえた適切な事務運用に引き続き取り組むとともに、返礼品、体験等の拡充を含むPR手法の充実を図る。併せて、企画政策課で実証実験的に行っているクラウドファンディングについて、他事例での財源確保の検討ができるよう、他部署に展開できるようなノウハウ作りが必要である。
今後の具体的な取組予定	・クラウドファンディングの他部署展開にあたっては、広く庁内普及が図られるように実用的でわかりやすいノウハウの提供が必要である。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	財政課
施策	③ 財政健全化の推進		
改革手段	2 経営基盤の強化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	30

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
3	重点13	債務の削減	毎年の市債借入額は、元金償還額を上限とするとともに、高利債を中心に繰上償還を実施する。					・将来負担の軽減 ・財政の健全化	財政課	
			金融機関との協議、繰上償還の随時実施							

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・毎年、市債借入額は元金償還額を上限とするとともに、高利債を中心に繰上償還を実施する。				
取組内容	【取組中】 ・市債借入額を元金償還額以内とすることができ、市債による将来負担の軽減につなげた。 ・市内金融機関と繰上償還についての協議を行い、1件の繰上償還を行った。 ・市債残高削減のため、借入条件の見直しを行った。				
取組による効果	・財政の健全化及び償還利子削減による将来負担の軽減につなげる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・市債借入額を元金償還額以内とすることができたため、目標どおりの達成度とした。 ■市債残高の推移 平成29年度末 449億9,240万円 平成30年度末 429億7,925万円				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・現在の金利状況から繰上償還の実施が難しくなっているため、借入条件の変更など、新たな取組みを行っていく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・今後も現在の取組みを継続する。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	財産管理課
施策	④ 公有財産の最適化		
改革手段	2 施設の見直し及び処分		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	33

番号	点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
1	重点14	施設の見直し及び処分	豊川市公共施設適正配置計画などに基つき既存施設の見直しや処分を実施する。	>>>>>>>>>>>>>>>				・経費の削減	財産管理課	
				施設の有効活用や統廃合等の検討・実施					関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・小坂井地域交流会館（仮称）基本設計に基づき実施設計を実施する。 ・公共施設等総合管理計画の施設類型ごとの基本方針に基づき、個別計画の未策定の施設所管課には、引き続き策定要請を行うとともに、支援を行う。				
取組内容	【取組中】 ・住民説明会やWS（ワークショップ）等の実施を通じて小坂井地域交流会館（仮称）に対する事業の周知を行う。 ・公共施設等総合管理計画の施設類型ごとの基本方針に基づき施設所管課との協議を通じて個別計画の策定を行う。				
取組による効果	・住民説明会やWS等で要望等の意見を伺うことで、小坂井地域交流会館（仮称）に対する地域住民の理解等が深まった。 ・施設所管課の一部で保有総量縮減や施設の長寿命化等を踏まえた計画の策定に取り組んでいる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・住民説明会やWS等を行うことで小坂井地域交流会館（仮称）に対する地域住民の一定の理解を得ることができたため小坂井地域交流会館（仮称）に対する事業の周知は、目標どおりの効果達成とした。 ・施設所管課の一部で保有総量縮減や施設の長寿命化等を踏まえた計画を策定し、既存施設の建替えに合わせて施設統合に取り組めたため、目標どおりの効果を達成した。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・今後、具体的な施設の統廃合を検討する過程で、その施設を利用する市民等をはじめ多方面からの反発が必至であるため、その調整が非常に困難と考える。
今後の具体的な取組予定	・小坂井地域交流会館（仮称）実施設計に基づき建設工事を実施する。 ・公共施設等総合管理計画の施設類型ごとの基本方針に基づき、個別計画の未策定の施設所管課には、引き続き策定要請を行うとともに、支援を行う。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	財産管理課
施策	④ 公有財産の最適化		
改革手段	3 保有財産などの利活用の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	34

番号	註	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
1	重点15	市有地や市施設の空きスペースの有効活用と処分	将来的に利用見込みのない市有地の売却を進めるとともに、施設 の空きスペースを民間などに貸付け る。	>>>>>>>>>>>>>>>				・自主財源の確保 【76,391千円増】	財産管理課	
				・未利用地の掘り起こし、売却 ・土地売却手法の確立 ・空きスペースの賃付						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・施設の空きスペースについては、基本方針の策定も含め、今後のファシリティマネジメントの取組みの中で情報収集を行い、効果的な利活用の検討につなげていく。				
取組内容	【取組中】 ・用途廃止により普通財産となった土地に関しては、従前の土地所管課により隣接土地所有者への売却の打診を行うことを原則としている。 ・土地売却及び基本方針の策定に資するため、保有財産の再確認等の作業に着手している。				
取組による効果	・前年度中に売却の打診をした土地について、平成30年度に売却することができた。また、前年度に引き続き未活用用地を、貸すことにより新たな収入を得た。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	76,391		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	77,526	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	3点	目標を超える効果達成
取組に対する自己評価	・計画にない土地の売払いや貸し付けにより、収入増加額実績額が予定額を1,135千円上回ったので目標を超える効果達成とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 広報、ホームページ及び現地に設置している案内看板のみでは、土地の売却に関する情報発信のツールとしては不十分であると思われる。 土地の貸付は、駐車場以外も視野に入れた検討が必要と考えられる。
今後の具体的な取組予定	・ 施設の空きスペースについては、基本方針の策定も含め、今後もファシリティマネジメントの取り組みの中で情報収集を行い、効果的な利活用の検討につなげていく。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	4 組織・仕組	主管課	企画政策課
施策	① トップマネジメントの確立		
改革手段	1 トップマネジメントの確立		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	36

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
1	重点16	企画調整会議の推進	市内部における企画調整会議の活用を図る。					・行政の円滑運営	企画政策課	
				企画調整会議の積極的な活用						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・今後も現在の取組みを継続するとともに、効果的な方法について検討を実施する。				
取組内容	【取組中】 ・平成30年度は、市内部で企画調整会議を3回開催した。 ・案件によって、担当課長レベルでの調整を実施し、次の方向性を定める「企画調整審査会」の取組みを新たに開始した。平成30年度は4回実施した。				
取組による効果	・市政の重要案件をレベル感に応じて関係各部・課で情報共有することにより、行政の円滑な運営に寄与する。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・企画調整会議及び企画調整審査会を開催することで、各部・課で情報共有ができ、市の重要な施策について、強力なリーダーシップが発揮でき、トップマネジメントの強化を図ることができたので、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・企画調整会議及び企画調整審査会の運営方法について、課題の内容等に応じたより効果的なマネジメントの強化や情報共有が図られるよう弾力的な運用を実施する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・今後も現在の取組を継続するとともに、効果的な方法について検討を実施する。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	4 組織・仕組	主管課	人事課
施策	② 柔軟な組織・権限の見直し		
改革手段	1 組織の見直し		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	37

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
2	重点17	組織と定員の適正化	組織と人員配置(定員管理)のあり方を検討して実施体制の最適化を図る。	>>>>>>>>>>>>>>>>				・実施体制の最適化 ・実施体制の強化	人事課	
			組織と人員配置のあり方を随時検討						行政課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き、管理職との人事異動ヒアリングにおいて、詳細に行政ニーズや必要人数を聞き取り、組織体制の強化につなげる。 ・組織と定員の適正化を図るために、組織を所管する行政課と連携する。				
取組内容	【取組中】 ・第5次豊川市定員適正化計画に連動した組織改正が行えるよう、管理職との人事異動ヒアリングを行った。 ・行政課が行う組織改正のヒアリングに人事課も同席し、情報共有を行った。				
取組による効果	・組織体制の需要の明確化と、体制強化を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・ヒアリングにより組織体制の需要を明確化し、限られた人的資源の中、概ね要望にあった人事異動を行うことができ、組織体制の強化を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・職員数の大幅な増加が見込まれない中、限られた人的資源で効果的に、行政ニーズに応えられる組織体制を整えなければならない。
今後の具体的な取組予定	・引き続き、管理職との人事異動ヒアリングにおいて、詳細に行政ニーズや必要人数を聞き取り、組織体制の強化につなげる。 ・組織と定員の適正化を図るために、組織を所管する行政課と連携する。

具体的取組評価結果票 (平成30年度分)

将来像	4 組織・仕組	主管課	企画政策課
施策	③ マネジメントサイクルの確立		
改革手段	1 事業実施決定方法の見直し		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	39

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
1	重点10	総合計画策定方法の充実	総合計画実施計画策定において、事前評価の結果をより有効に活用できる手法を検討し、充実させる。	●●●●●●●●●●				・より実効性の高い事業展開	企画政策課	
				方法の検討	取組実施				関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き事前評価の内容をもとに関係各課でワーキング等を行い、より質の高い事業の実施を目指す。				
取組内容	【取組中】 ・より質の高い事業の実施を目指すために、新たに地域再生計画に認定された事業の実施を目的として、事業間の連携等をテーマとして関係各課でワーキング（前期1事業、後期3事業）を行った。				
取組による効果	・事前評価並びにワーキングの実施により、事業の実施に具体性を持たせるとともに、連携により効果的な事業展開が期待できる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・総合計画実施計画策定において、各課で連携を意識した事業展開の意識づけができた。平成30年度に実施した実施計画の策定において13ケースの連携を生み出すことができた。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—	効果達成度評価点	—
取組に対する外部評価・意見			

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・引き続き事前評価による事業の磨き上げを具体的な施策に結びつけるよう、手法を充実する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・引き続き事前評価の内容をもとに関係各課でワーキング等を行い、より質の高い事業の実施を目指す

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	4 組織・仕組	主管課	財政課
施策	③ マネジメントサイクルの確立		
改革手段	2 評価手法の充実		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	40

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
3	重点19	施策の成果の見直し	主要施策の成果報告書に成果指標や事後評価等を加える見直しを行う。					・評価過程の明確化	財政課 関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・総合計画実施計画事業又は各部当初予算重点事業について、より明確で分かりやすい事後評価等ができるよう、さらなる検討を行う。				
取組内容	【取組中】 ・平成29年度決算にかかる主要施策の成果報告書において、自己評価結果の掲載及び統計資料の見直しを実施した。				
取組による効果	・決算にかかる主要施策の成果報告書の見直しにより、評価過程の明確化が図られた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・平成29年度決算にかかる主要施策の成果報告書において、昨年度実施した改善点を踏まえ、自己評価結果の掲載及び統計資料の見直しを実施できた。また、当初予算重点事業の公表資料との整合を意識した作成にも努めることができたため、目標どおりの達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 報告書の作成スケジュール及び掲載内容のさらなる検討が必要である。
今後の具体的な取組予定	・ 総合計画実施計画事業又は各部当初予算重点事業について、より明確で分かりやすい事後評価等ができるよう、さらなる検討を行う。

具体的取組評価結果票 (平成30年度分)

将来像	5 人材・品質	主管課	人事課
施策	① 少数精鋭の推進		
改革手段	1 人材育成の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	42

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				29	30	31	32			
1	重点20	職員研修の充実化	人材育成基本方針に沿って、今後、職員研修を充実する。					・時機に合った、必要性の高い学習の提供	人事課	
				人材育成基本方針に沿った職員研修の実施						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・「新・豊川市人財育成基本方針」に基づき、充実した職員研修を実施する。 ・女性職員の登用と職域の拡大を図るための研修を継続して実施する。 ・「新・豊川市人財育成基本方針」を時世に合った内容に改正する（平成30年度改正予定）。				
取組内容	【取組中】 ・「新・豊川市人財育成基本方針」に基づき、職員研修の充実化に取り組んだ。 ・女性職員の登用と職域の拡大を図るため、複数の女性職員に外部研修を受講させた。 ・平成30年度中に「新・豊川市人財育成基本方針」の改正作業を行い、「豊川市人財育成基本方針」として、平成31年4月にリリースした。				
取組による効果	・限られた予算・人員のなかで、行政ニーズに対応する職員の資質向上を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・それぞれの研修で所期の目的を達成でき、職員の資質向上を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・「豊川市人財育成基本方針」を周知し、これに基づいて研修を実施する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・「豊川市人財育成基本方針」に基づき、充実した職員研修を実施する。 ・女性職員の登用と職域の拡大を図るための研修を継続して実施する。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	5 人材・品質						主管課	人事課
施策	① 少数精鋭の推進							
改革手段	2 定員適正化の推進							
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組							該当ページ	44

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
1	重点21	定員の適正化の推進	第5次定員適正化計画に基づく定員の適正化を推進する。	>>>>>>>>>>>>				・人件費の削減	人事課	
				少数精鋭体制の推進						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・第5次豊川市定員適正化計画に基づき、引き続き定員の適正化に努めるとともに、人材育成施策（研修等）の実施により、職員の能力向上に努める。				
取組内容	【取組中】 ・第5次豊川市定員適正化計画を指標としつつ、行政需要の増加を勘案し、定員の適正化に努めた。（対計画値：▲10名。対前年比で+1名） ・人材育成施策（研修等）の実施により、職員の能力向上に努めた。				
取組による効果	・限られた人的資源の中で、人材育成施策により、職員の能力向上を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・平成30年4月1に付の職員数は1,111人であり、第5次豊川市定員適正化計画上の職員数1,121人以内に抑えることができた。また、フルタイム再任用職員17名と育児休業代替任期付職員5名も活用し、少数精鋭体制を推進することができたため、目標どおりの効果達成とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・第5次豊川市定員適正化計画では、平成32年度の職員数を平成27年度と比較して微増の予定をしているものの、限られた人材の中、効果的な施策によって行政運営を推進していく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・第5次豊川市定員適正化計画に基づき、引き続き定員の適正化に努めるとともに、人材育成施策（研修等）の実施により、職員の能力向上に努める。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	5 人材・品質	主管課	市民課
施策	② 窓口サービスの向上		
改革手段	1 より身近で便利で快適な窓口サービスの実現		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	46

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
1	重点22	お客様を迷わせない取組の実施	番号発券機の導入を行い、窓口の状況に応じて発券機等への案内を行う。					・窓口サービスの向上	市民課	
				・番号発券機の運用 ・発券機等への案内実施						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・混雑時でも多くの市民に異動届を事前に記入をしてもらえるよう案内掲示等を工夫し、待ち時間の短縮を図る。				
取組内容	【取組中】 ・異動届の事前記入を促す動画を住所異動窓口前のパソコンモニターに流し、事前に異動届出の記入を促す。				
取組による効果	・住所異動窓口前にパソコンモニターを設置し、事前記入を促す動画を流すことで待っている市民が窓口の手続きをするまでの間に異動届の事前記入を行うようになり、その結果手続きが短縮され、異動手続きの待ち時間を短縮することができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・パソコンモニターで流した動画が待っている市民の目にとまり、異動届の手続きを職員が受けるまでに事前記入している方が増えたので、目標どおりの効果達成とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・パソコンモニターで流したことで、事前に異動届を記入する方を増やすことが出来たが、中には、モニターに気付かず届出を記入されない方がいる。
今後の具体的な取組予定	・1番窓口の証明発行受付、会計窓口において、混雑時にスムーズな対応ができるように工夫する。 ・モニターに気付かれない方へのさらなる事前記入促進への取り組みを工夫する。 ・待ち時間の短縮やわかりやすい案内ができるように継続して取り組む。

具体的取組評価結果票 (平成30年度分)

将来像	5 人材・品質	主管課	情報システム課
施策	③ 行政情報化の推進		
改革手段	1 行政サービスの高度化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	48

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				29	30	31	32			
1	重点29	GIS*の活用 (工事箇所 情報、災害 時の情報等 の提供)	GISにより工事箇 所情報や災害時 の情報等を提供 する。					・情報公開の迅速化 ・公開情報の確実 性確保	情報システム課 関係各課	
				工事箇所、災害時の情報等の提供						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	- 引き続き、提供している工事箇所情報の更新を行う。 - 次期G I Sの選定を滞りなく進める。				
取組内容	【取組中】 - 平成25年度から運用を開始した市民公開型G I Sに、工事情報や防災マップを掲載し、市民への情報提供を行った。 - 次期G I Sのプロポーザル選定を行った。				
取組による効果	- 工事情報、防災マップをホームページを通じて、情報を迅速に提供することができた。 - 次期G I Sの選定が完了した。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	- 市民公開型G I Sにて工事箇所情報及び防災情報をいち早く提供することができたため、目標どおりの効果達成度とした。 - 次期G I Sの選定が完了したため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—	効果達成度評価点	—
取組に対する外部評価・意見			

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	市民サービスの向上に資することができるよう、次期G I Sの構築を進める必要がある。
今後の具体的な取組予定	- 引き続き、提供している工事箇所情報の更新を行う。 - 次期G I Sの構築を滞りなく進める。

具体的取組評価結果票 (平成30年度分)

将来像	5 人材・品質				主管課	行政課
施策	④ 業務改善の推進					
改革手段	1 業務改善の意識高揚と改善の推進					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	50

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
1	重点24	業務改善運動の推進	あらゆる手法を活用してアイデアを引き出し、業務改善運動を推進する。					・職員の業務改善意識の向上 ・業務の効率化	行政課	
				カイゼン運動の実施						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	- 引き続きT-1グランプリを実施し、業務改善に対する周知・啓発を図る。 - 働き方改革を意識した仕事カイゼンを考えてもらうためにT-1グランプリの部門に、新たに「働き方改革」に関連する部門を追加する。				
取組内容	【取組中】 - カイゼン運動として、T-1グランプリを実施した。 - 仕事カイゼンに関する啓発・支援を強化するため、カイゼン週間を設定し、他市等の取組み事例について紹介し業務改善への意識の高揚を図った。 - 優秀仕事カイゼンを選出し、表彰を行った。				
取組による効果	T-1グランプリの取組み件数が177件（前年度の165件）であり、うち「働き方改革」に関する取組みは14件であった。カイゼン週間などにより、仕事カイゼンの推進及び業務改善意識の向上を図ることができたと考えられる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	カイゼン週間などの取組みの結果、T-1グランプリの取組み件数について、前年度を上回る件数であり、新たに追加をした「働き方改革」部門の改善取組みも実施されたことから、業務改善意識の向上や業務の効率化を図ることができたと考えられるので、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	仕事カイゼンの意識は定着し、着実に取組みを実施してきているが、T-1グランプリを実施し6年が経過しており、意識の停滞を防止するため今後も業務改善意識の向上を図る必要がある。
今後の具体的な取組予定	引き続きT-1グランプリを実施し、働き方改革を意識した仕事カイゼンを考えてもらうために業務改善に対する周知・啓発を図る。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	5 人材・品質	主管課	人事課
施策	④ 業務改善の推進		
改革手段	2 職場環境の向上		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	51

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
1	重点25	職員の働きやすい職場環境の構築	ワーク・ライフ・バランスの推進できる職場環境を構築する。					・円滑な事務の推進によるサービスの向上	人事課	
				・子育てとの両立支援の意識啓発 ・時間外勤務削減の意識付け、実施						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ワーク・ライフ・バランスを推進するためのより効果的な施策について検討し、実施する。 ・平成28年3月に策定された特定事業主行動計画（平成27年度～平成32年度）に基づいた取組みを行う。				
取組内容	【取組中】 ・特定事業主行動計画に基づく措置の実施状況の公表、「職員のための子育て応援マニュアル」の周知などにより、ワーク・ライフ・バランスの意識啓発を行った。 ・「ノー残業デー」、「ゆう活」、「プレミアムフライデー」を実施した。 ・時間外勤務が多い職場に対して、改善を図るよう意識付けを実施した。				
取組による効果	・ワーク・ライフ・バランスに対する意識の向上を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・ワーク・ライフ・バランスの推進のために効率的に施策を実施し、職員の意識を向上することができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・所属の職員全員が、意識し協力し合える環境とするため、豊川市職員全体が意識改革を進める必要がある。
今後の具体的な取組予定	・ワーク・ライフ・バランスを推進するためのより効果的な施策について検討し、実施する。 ・平成28年3月に策定された特定事業主行動計画（平成27年度～平成32年度）に基づいた取組を行う。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	1 市民・協働	主管課	人事課
施策	① 市民参画の推進		
改革手段	1 市民参画意識の醸成		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	11

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
2		職員研修の実施	市民参画を図る職員研修を実施する。					・市民参画に対する職員の意欲向上	人事課	
				NPO法人見学等を職員研修で実施					市民協働国際課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き、市内のNPOを知るための「市内NPO見学ツアー」を一般職員中期研修へ組み込んで実施する。				
取組内容	【取組中】 ・一般職員中期研修において、民間非営利法人（NPO）について、目的・特性・意義などの説明を行うとともに、市内NPO法人見学ツアーを開催、3団体を訪問し活動内容を学び市民参画に対する意識の醸成を図った。				
取組による効果	・NPOに関する理解が深まり、職員の市民参画意義の醸成が図られた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・「市内NPO見学ツアー」に20名の職員が参加し、NPOの役割や市民協働の意義を学ぶことができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・市内NPOの見学先が、福祉系に偏っているため、市民協働国際課と協議をして見学先や実施方法の見直しも検討する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・引き続き、市内のNPOを知るための「市内NPO見学ツアー」を一般職員中期研修へ組み込んで実施する。

具体的取組評価結果票 (平成30年度分)

将来像	1 市民・協働	主管課	都市計画課
施策	① 市民参画の推進		
改革手段	2 市民参画機会の増加		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	12

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
2		ワークショップの活用	密集市街地整備事業において、地元活動団体とワークショップを実施する。	>>>				・まちづくりへの市民参加の増加	都市計画課	
				ワークショップの実施						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	今後は、牛久保地区において、主にハード整備を進める予定であり、牛久保地区の整備が具体化された後、次地区に取組む予定である。				
取組内容	【調整中】 ・前年度に掲げた取組予定内容・目標の通り、牛久保地区において主にハード整備を進めている。ワークショップは、次地区において取組む予定である。				
取組による効果	・ワークショップを実施していないため、効果はない。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	—	
取組に対する自己評価	・ワークショップを実施しておらず、効果はないため、評価する内容はないが、次地区に取組む際には、市民が参加しやすいよう整備手法を検討する必要がある。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	牛久保地区については、ワークショップを実施することにより、まちづくりへの市民参加を増加させることができた。今後は、次地区において、市民が参加できるよう整備手法を検討する必要がある。
今後の具体的な取組予定	今後は、牛久保地区において、主にハード整備を進める予定であり、牛久保地区の整備が具体化された後、次地区に取組む予定である。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	1 市民・協働	主管課	企画政策課
施策	① 市民参画の推進		
改革手段	2 市民参画機会の増加		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	12

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
3		審議会等に関するガイドラインの運用	審議会などの委員選任について定めたガイドラインの運用を行う。					・審議会等の活性化 ・まちづくりへの意欲の醸成	企画政策課	
				審議会等に随時運用						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続きガイドラインの適切な運用を周知徹底するとともに、各審議会の委員募集の際には、公募委員を選任していく。				
取組内容	【取組中】 ・ガイドラインの適用状況について調査を実施するとともに周知を行い、職員の理解を深める取組みを実施した。 ・豊川市審議会等見える化ガイドラインに基づき、市民公募による審議会委員の登用を引き続き行った。				
取組による効果	・市民公募による審議委員を登用することにより、審議会委員の公募を行うことにより、審議会等の活性化が図られた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・ガイドラインに基づき各課への働きかけを実施するとともに、新規設置の審議会では委員の公募を行い、市民のまちづくりへの参画機会を高めることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・審議会の委員募集の際に引き続き公募委員を選任できるよう、ガイドラインの内容について、職員への理解度を深める必要がある。
今後の具体的な取組予定	・ガイドラインの適切な運用を周知徹底するとともに、各審議会の委員募集の際には、公募委員を選任していく。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	1 市民・協働	主管課	学校教育課
施策	① 市民参画の推進		
改革手段	2 市民参画機会の増加		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	12

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
4		親子等で参加できる活動の企画・実施	親子や家族の参加ができる行政の活動を企画・実施する。	>>>>>>>>>>>>>>>>>>				・地域や家庭と連携した教育活動の展開	学校教育課	
				「学校の日」を始め各種講座の企画・実施						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ホームページや広報、案内などの啓発活動を推進する。 ・さらなる内容の充実、学校ごとの特色ある活動を工夫していく。				
取組内容	【取組中】 ・各学校において工夫を凝らした行事などが催され、市内の小中全36校で学校の日を年3回実施することができた。				
取組による効果	・年間の来校者数の合計が高い数字を維持しており、学校の日が定着している。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・各学校において工夫を凝らした行事などが催され、市内の小中全36校で学校の日を年3回実施することができたため、目標どおり達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・学校の日での取り組みが形骸化している学校も見られる。内容の見直しなど、より一層充実したものにしていくように各校に依頼する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・ホームページや広報、案内などの啓発活動の推進する。 ・各学校が特色を生かした活動を工夫していく。

具体的取組評価結果票 (平成30年度分)

将来像	1 市民・協働	主管課	商工観光課
施策	② 市民協働の推進		
改革手段	1 協働の組織づくり		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	13

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				29	30	31	32			
2		イベントにおけるボランティア活動の促進	イベント(市民まつりなど)へのボランティア参加を促進する。					・ボランティア参加者の増加	商工観光課 関係各課	
				・各種イベントでの参加促進 ・観光まちづくりボランティア講座の実施						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・市民まつりについては、現在の内容を継続していきながら、ボランティア活動の内容の見直しについて、関係団体との調整を並行して行っていく。 ・観光まちづくりボランティア講座については、引き続き現登録者が活躍の場を創出に努める。				
取組内容	【取組中】 ・市民まつりボランティアについては、交通指導隊、ボーイスカウト、文化協会による駐輪場、会場周辺交通誘導などのボランティア参加を実施した。 ・観光まちづくりボランティア講座については、登録者へのイベント参加の案内体制は確立している。取り組み内容としては、イベントボランティアの参加だけではなく、イベントを含め広く観光に関わる場の創出として、観光ボランティアガイド、SNS発信コースの全3回を実施した。				
取組による効果	・市民まつりボランティアについては、例年どおりの70名程参加があった。 ・観光まちづくりボランティア講座については、延べ14名の参加者があり、観光ボランティアガイド、SNS発信とも、継続して参加できる場を創出することができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・市民まつりボランティアについては、必要なボランティア活動などの検討について、調整を進めることはできなかったが、例年どおりの70名ほどの参加者を確保することができたため目標どおりの効果達成度とした。 ・観光まちづくりボランティア講座については、登録者へのイベント参加の案内体制の確立はできており、イベントボランティアの参加だけではなく、イベントを含め広く観光に関わる場の創出に取組み、観光ボランティアガイド、SNS情報発信とも、継続して参加できる場として創出することができたため目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—	効果達成度評価点	—
取組に対する外部評価・意見			

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・市民まつりボランティアについては、現在の取り組みを継続しながら、必要なボランティア活動を収集し、適宜、関係団体と調整を行っていく必要がある。 ・観光まちづくりボランティア講座については、登録者が継続して活躍の場を創出する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・市民まつりボランティアについては、現在の取り組みを継続しながら、必要なボランティア活動を収集し、適宜、関係団体との調整に取り組む。 ・観光まちづくりボランティア講座については、登録者が継続して活躍できる場の創出に取組む。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	1 市民・協働	主管課	道路維持課 公園緑地課
施策	② 市民協働の推進		
改革手段	1 協働の組織づくり		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	13

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
3		アダプトプログラム の 推進	民間での管理の促進や町内会などによる公共施設の美化のための組織化を推進する。	>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>				・市民協働の推進 ・維持管理経費の削減 ・地域の連携の醸成 ・ボランティアの活用	道路維持課 公園緑地課	
			<-----> ・道路や河川の美化清掃活動の実施 ・公園や広場等の地元管理の推進							

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・当プログラムに関心を持っていただいている方へのアプローチとして、参加への敷居が低いと思って頂けるようにホームページ、ＣＣネット市政情報、出前講座を通じて、理解と周知を図り参加を募る。				
取組内容	【取組中】 ・アダプトプログラム制度の周知を図るため、ホームページやＣＣネット市政情報で情報発信を行った。 ・登録された個人、団体、事業所による道路、公園及び河川の環境美化活動が行われた。				
取組による効果	・市道、公園及び河川の公共施設の美化が図られ、市民ボランティアを活用でき地域連携の醸成につながっている。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・市道、公園及び河川の美化について、当該地区の個人、団体、事業所と連携し市民協働の推進につながったため目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・既に自主的に美化を行っている個人・団体・事業所が、当プログラムへ誘導されることに強制感や義務的な事務や行事で縛られるという先入観で、負担感や抵抗感が先行される。そうした先入観を払拭することが課題と考える。
今後の具体的な取組予定	・参加への敷居を感じさせないように、ホームページ、ＣＣネット市政情報、出前講座を通じて、当プログラムに関心を持っていただけるように理解と周知を図り参加を募る必要がある。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	1 市民・協働	主管課	市民協働国際課
施策	② 市民協働の推進		
改革手段	2 市民活動の支援		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	14

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
1		ボランティア・NPO等の人材育成と運営支援	各種講座・研修会等の開催、情報提供及び資金支援などにより活動を支援する。					・団体の自立発展 ・団体活動の活性化	市民協働国際課	
				・講座開催による新たな人材の確保 ・NPO法人の運営支援に対する補助金交付等						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き、若者ボランティア体験講座を企画・実践する。 ・引き続き、NPOに対しスキルアップ講座を実施する。 ・引き続き、ボランティア・市民活動体験・養成講座を実施する。				
取組内容	【取組中】 ・若年層を対象とした体験型講座（体験事業20事業）を実施した。（若者ボランティア体験講座） ・NPOスキルアップ講座を実施した。（チラシ作成講座・市民活動情報発信ボランティア養成講座） ・ボランティア・市民活動体験・養成講座を実施した。（アロマハンドタッチボランティア体験講座）				
取組による効果	・若者ボランティア体験講座では、高校生や大学生、若い社会人などに「まちを盛り上げる活動」「子どもたちとふれあう活動」「文化・芸術にかかわる活動」「その他の活動」の4分野で、行政の事業をはじめ市民活動団体や事業者が行う事業などを体験してもらったことで、市民活動の若年層の人材育成を図ることができた。 ・スキルアップ講座やボランティア養成講座などの市民活動講座を4回実施し、市民活動団体の人材育成や市民活動への参加促進を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・若者ボランティア体験講座（41名参加）を始め、スキルアップ講座（36名参加やボランティア養成講座（46名参加）などを通し、NPO各団体の人材育成や市民活動への参加促進と意識啓発が図れたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・多様なスキルを持った人材を市民活動に生かすことができるよう、定年退職者を始めとした自立高齢者への、ボランティア意識向上と参加へのきっかけに繋がる講座や啓発の取り組みについて検討する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・引き続き、若者ボランティア体験講座を企画・実践する。 ・引き続き、NPOに対しスキルアップ講座を実施する。 ・引き続き、ボランティア・市民活動体験・養成講座を実施する。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	1 市民・協働	主管課	環境課
施策	③ 企業など他団体との連携の強化		
改革手段	1 企業などとの連携		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	15

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				29	30	31	32			
1		環境保全活動に係る企業の情報共有	環境をテーマに社会貢献活動を行っている市内・事業所と情報共有を行う。	>>>>>>>>>>>>>>>>>>				・官民連携による活動の拡大 ・環境目標の実現 ・市内事業所との協働	環境課	
				市内企業などの情報共有						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・環境保全活動に係る企業などとの情報共有を図り、各企業の活動などを市民に周知する場を提供する。				
取組内容	【取組中】 ・エネルギー関係事業者「中部電力（株）豊川営業所」及び「中部ガス（株）豊川営業所」と情報交換の場を設け、情報共有を図った。 ・おいでん祭「環境コーナー」で市内各企業の活動などを紹介する場を提供し、市民に広く周知した。				
取組による効果	・市内企業と情報交換の機会を設けることにより情報共有を図れた。 ・情報発信の場を設けることにより、各企業の活動などを市民に広く周知することができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・市内企業と情報交換の機会を設けることにより情報共有を図れたこと及び、情報発信の場を設けることにより、各企業の活動などを市民に広く周知することができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・市内各企業と情報共有を図ることについて、今後も取組みを継続する。 ・市政運営の中でも参考となる取組みがあれば検討していく。
今後の具体的な取組予定	・環境保全活動に係る企業などとの情報共有を図り、各企業の活動などを市民に周知する場を提供する。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	1 市民・協働	主管課	介護高齢課
施策	③ 企業など他団体との連携の強化		
改革手段	1 企業などとの連携		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	15

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
2		企業・民間団体との連携したサービスの展開	子育て支援、高齢者・障害者福祉などのサービスを企業・民間団体と連携して提供する。					・在宅医療、介護連携の促進 ・待機者の解消 ・介護離職の減少	介護高齢課 関係各課	
			・開設準備経費の補助 ・地域密着型サービス事業所(介護)の開所	事業の実施						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・平成29年度に選定を行った、地域密着型サービス事業所（介護）の整備事業の進捗管理を適切に行う。 ・引き続き実施内容の充実や、実施箇所数の増加に努めるため、認知症カフェへの支援を行う。				
取組内容	【取組中】 ・民間事業者による定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 1 施設の整備にあたり、その開設準備経費に対し補助を行った。 ・認知症カフェについて、運営経費に対する補助を 9 箇所、立ち上げ支援を 1 箇所実施した。				
取組による効果	・新たに定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 1 施設が民間事業者により開設され、住み慣れた地域で在宅生活を継続できるよう、市内における在宅介護サービス提供体制の充実を図ることができた。 ・認知症カフェ立ち上げ支援を新たに行うことで、地域における認知症についての理解をさらに深めることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の整備については、要望どおりの県補助金を確保でき、計画どおりの進捗となっているため、目標どおりの効果達成度とした。 ・認知症カフェの開設数は目標 1 1 箇所に対し 9 箇所と現状維持となっているが、立ち上げ支援を含めた認知症カフェへの支援については、おおむね当初の支援計画どおりの進捗となっているため、目標どおりの効果達成とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・平成30年度からの広域化により、東三河広域連合が第7期介護保険事業計画にもとづき事業を実施してきたが、引き続き、豊川市の介護サービス提供体制の維持・充実を図るため、東三河広域連合と調整を行う必要がある。 ・認知症高齢者の増加に伴い、今後も認知症の方やその家族への支援の充実を図るとともに、地域における認知症についての理解を深めていく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・引き続き、豊川市の介護サービス提供体制の維持・充実を図るため、東三河広域連合と連絡・調整を行う。 ・引き続き実施内容の充実や、実施箇所数の増加に努めるため、認知症カフェへの支援を行う。運営費補助を受けていない認知症カフェについても立ち上げや継続支援など、認知症地域支援推進員や生活支援コーディネーターと連携して対応していく。

具体的取組評価結果票 (平成30年度分)

将来像	1 市民・協働	主管課	人事課							
施策	③ 企業など他団体との連携の強化									
改革手段	2 大学などとの連携									
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	16							
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				29	30	31	32			
2		インターンシップの拡大・充実	大学生を受け入れ、職場体験を実施する。					・学生の職業意識の向上 ・市政への理解の拡大	人事課	
				・ホームページへの募集情報の掲載 ・学生の受入						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き、積極的に学生のインターンシップを受入を行う。				
取組内容	【取組中】 ・東海地域インターンシップ協議会に参加し、積極的に学生のインターンシップの受入を行った。				
取組による効果	・学生の職業意識の向上と市政への理解の拡大を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・平成30年度は17名の学生を17課で受入れることができ、学生の職業意識の向上と市政への理解の拡大を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・インターンシップの受入を積極的に行うために、各課の協力が必要である。
今後の具体的な取組予定	・引き続き、積極的に学生のインターンシップを受入を行う。

具体的取組評価結果票 (平成30年度分)

将来像	1 市民・協働				主管課	学校教育課
施策	③ 企業など他団体との連携の強化					
改革手段	2 大学などとの連携					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	16

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
3		学校との協働事業の推進	小中学校・高校において、体験や講座などの協働事業を行う。					・学ぶ機会の充実 ・ボランティア意識の向上	学校教育課	
				小中学校での協働による学習支援						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・児童生徒にとってより実りのある機会となるように、各学校への呼びかけを継続していく。 ・より多くの大学生の参加を確保するため各機関へ働きかけを継続する。				
取組内容	【取組中】 ・「学びとふれあい子ども教室事業」で、県内大学へ参加を募集し、応募した学生が、学習活動の支援を行った。 ・「あいちの学校連携ネット」へ情報を掲載した。 ・各校で工夫した取り組みをお願いした。				
取組による効果	・多くの大学生が小学生や中学生とともに活動したり、学習したりする中で、ボランティアの意識を向上させることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・昨年度より大学生の参加者が63名から75名に増え、各小中学校の先生方の指導もあり、より高いボランティア意識の向上を得られ、夏休みという学校の授業がない期間に、小中学生にとって学ぶ機会を提供できたため目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・開設日をできるだけ増やすこと及び大学生の参加を多くしていく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・児童生徒にとってより実りのある機会となるように、各校への呼びかけを継続していく。 ・より多くの大学生の参加を確保するため各機関へ働きかけを継続する。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	1 市民・協働	主管課	企画政策課
施策	③ 企業など他団体との連携の強化		
改革手段	3 広域行政の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	17

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
1		事務事業の共同処理の推進	現行の事務事業や権限移譲により対応する事務事業を広域で共同処理する。	>>>>>>>>>>>>>>>>				・経費の削減 ・人員の削減	企画政策課	
				各事務事業で随時共同処理の検討・実施					関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・継続的に実施される会議等において、東三河広域連合の取組に係る情報把握に努める。				
取組内容	【実施】 ・東三河広域連合と連携しながら、事務事業の共同処理について検討及び準備を進めるとともに、広域連合において共同処理を実施することのできる事務調査を全庁を対象に実施した。				
取組による効果	・事務を共同で行うことにより、効果的な事業の実施を図ることができた。 ・引き続き事務事業の共同処理について情報収集及び意見交換を実施し、平成31年度より「一般旅券の発給申請の受理等の事務」について広域連合において事務移譲を受けることとなった。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・介護保険事業を始め6分野での共同事務処理を実施するとともに、平成31年度から開始となる「一般旅券の発給申請の受理等の事務」の実施に向けて調整及び準備を進める等、効果的な事業の実施を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・東三河広域連合と連携しながら情報収集を行い、事務事業の共同処理について検討を進める。
今後の具体的な取組予定	・継続的に実施される会議等において、東三河広域連合の取組に係る情報把握に努める。

具体的取組評価結果票 (平成30年度分)

将来像	1 市民・協働	主管課	企画政策課
施策	③ 企業など他団体との連携の強化		
改革手段	3 広域行政の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	17

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				29	30	31	32			
3		東三河の広域連携体制構築の検討・構築	東三河広域連合と連携し、広域的な課題に対応する行政の広域連携体制の強化について検討、構築する。					・業務対応力の強化 ・市民サービスの向上 ・経費の削減 ・人員の削減	企画政策課	
				・広域連携事業の調査、研究、実施 ・共同処理事務の調整、取組 ・権限移譲事務の調査、研究					関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・今後も東三河広域連合等と事務の共同化について調整及び準備を継続する。				
取組内容	【取組中】 ・東三河広域連合において、6分野（滞納整理、航空写真作成、社会福祉法人の認可及び監査、障害支援区分認定、消費生活、介護保険）の事務に係る共同処理を実施するとともに、平成31年4月から実施の「一般旅券の発給申請の受理等の事務」（事務移譲）について調整及び準備を実施した。				
取組による効果	・行政サービスの水準維持・向上とともに、経費の削減、事務の効率化を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・事務の共同処理や共同化の取組みは順調に進んでいるため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—	効果達成度評価点	—
取組に対する外部評価・意見			

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・今後のさらなる事務の共同化に係る検討について、東三河広域連合を含め関係市町村と慎重に取り組む必要がある。
今後の具体的な取組予定	・継続的に実施される会議等において、東三河広域連合の取組みに係る情報把握に努める。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	2 情報・共有	主管課	企業立地推進課 商工観光課 農務課
施策	① 地域情報化の推進		
改革手段	1 地域情報化の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	18

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
1		産業情報の発信強化	空き工場・店舗や中小企業支援・農作物の情報をICTを活用して発信する。	・空き工場・店舗用地の情報提供 ・中小企業支援施策の情報提供 ・農畜産物の情報提供				・地域産業の活性化	企業立地推進課 商工観光課 農務課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ホームページなどによる情報提供を継続するとともに、積極的な情報収集に努め、新しい情報が提供できるように努める。 ・農業市などのイベントでのPRや様々な媒体掲載などで閲覧機会を増やす取組みを強化する。				
取組内容	【取組中】 ・空き工場用地の情報を収集し、市ホームページで収集した情報を公開することで、市内産業情報の発信強化を図った。 ・制度内容を市の企業誘致PRパンフレットに掲載し、情報発信の強化を図った。 ・本市における中小企業者向けの施策に係る中小企業支援施策ガイドブックを作成し、関係機関への情報の提供やHPへの掲載を通じて、中小企業者へ情報発信を実施した。 ・平成25年4月1日から公開している農業専門ホームページ「うまとよウェブ」で各種イベントなどの農業情報を提供した。				
取組による効果	・空き工場用地の情報を収集し、市ホームページで収集した情報を公開することで、市内産業情報の発信をすることができた。 ・市の企業誘致PRパンフレットを作成・配布することで、情報発信することができた。 ・企業立地推進課や関係機関等と連携を図りつつ、中小企業支援に関する情報を一元的にまとめることで、効果的に施策の情報発信を実施することができた。 ・地域産業の活性化を図るための農産物等の情報発信ができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・空き工場用地として掲載していた1物件が、市内の不動産会社で賃貸借契約することとなり、産業の活性化に繋がった。また、市ホームページや企業誘致PRパンフレットにより、空き工場を活用した進出を検討する企業への情報発信ができたので、目標どおりの効果達成度とした。 ・中小企業施策ガイドブックでは、中小企業者向けの施策について各項目ごとに情報を掲載し内容を分かりやすく記載するとともに、関係機関と共通認識を図りながら積極的に情報発信を行うことができたため、目標どおりの効果達成度とした。 ・平成30年度のアクセス件数は、9,982件で目標（18,000件）の6割弱しか至らなかったが、知りたい方へ効果的に情報を伝えることが出来たため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・さらなる活性化を図るためには、企業の操業状況等を情報収集し、空き工場用地の情報を適宜更新していく必要がある。 ・情報を効果的に発信しつつ各種支援施策の積極的な活用を促進することや関係機関等との情報交換により最新な情報を収集することが必要である。 ・アクセス件数の目標達成のため、掲載内容の見直しを行い、内容の充実を図る。 配布する啓発物品等に「うまとよウェブ」の内容を掲載し周知を図る。
今後の具体的な取組予定	・市ホームページによる空き工場用地の情報提供を継続する。 ・積極的な情報収集に努め、新しい情報が提供できるように努める。 ・引き続き現在の取組みを継続するとともに、定例的に開催される会議等において、積極的に情報交換を行い効率的に情報収集ができるように努める。 ・農業市などのイベントでのPRや様々な媒体掲載などで「うまとよウェブ」の周知を図る。新規の取組みである「こだわりの農産物を味わえる店」認定制度に関する情報を掲載する。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	2 情報・共有				主管課	秘書課
施策	② 広報機能の強化					
改革手段	1 広報機能の強化					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	19

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
1		広報とよかわの充実化	毎月発行する広報「とよかわ」の内容を充実させる。	>>>						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・広報紙の特集や各コンテンツの質の向上を図る。 ・より多くの市民に市政情報を届ける新たな広報ツールを研究する。				
取組内容	【取組中】 ・インナーサークルの醸成を図るため、豊川市が誇るモノづくりを紹介するコンテンツの新設に向けて調整を行った。 ・図書館コーナーの充実を図るため、コラムの新設などページの更新を図った。				
取組による効果	・次年度に向けて、市民ニーズに沿ったコンテンツ作りを進めることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・広報「とよかわ」に関する電子市政モニターによるモニタリングの結果、「読みづらい」の2.3%に比べ、「読みやすい」が51.1%となり、概ね良好な評価が得られたため、目標どおりの達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・市民が求める情報の把握に努めながら、定期的な見直しや新たなコンテンツ作りを進めていく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・豊川市が国内外に誇るモノづくりを紹介するコンテンツを新設する。 ・図書館の旬な情報などを掲載したコラムを新設する。 ・広報紙の特集やコンテンツの質の向上を図る。

具体的取組評価結果票 (平成30年度分)

将来像	2 情報・共有	主管課	秘書課							
施策	② 広報機能の強化									
改革手段	1 広報機能の強化									
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	19							
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				29	30	31	32			
2		多様なツールを活用した市政情報の発信	ホームページ、SNS、動画等の多様なツールを活用し、市政情報を発信する。	ホームぺージ、Twitter*やFacebook*、動画等の活用				・広報力の強化	秘書課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・スマートフォン版ホームページ（トップページ）をリニューアルし、操作性や利便性の向上を図る。 ・シティセールスの重要な手段の一つとして、SNSの運用をさらに進める。				
取組内容	【取組中】 ・ホームページの新作記事や各課ページの更新状況を定期的にチェックし鮮度の高い情報発信を行った。 ・スマートフォン版ホームページのリニューアルにより、トップページのデザイン性を高め、操作性や利便性の向上を図った。 ・SNSを活用した積極的な市政情報の発信に取り組んだ。（Facebook掲載数159件、Twitter掲載数198件、Instagram掲載数245件）				
取組による効果	・市ホームページを最新の状態にすることで、市民に対して、常に鮮度の高い情報を提供することができた。 ・「いいね」や「フォロー」機能を利用することで、利用者との双方向コミュニケーションなどを実現させた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・市ホームページについては、使いやすさやデザイン性が評価され、愛知県広報コンクールで4年連続となる入賞を果たすなど、高い評価を得ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。 ・SNSについては、継続的な投稿に伴い、31年3月末現在、Facebook登録数は2,874件（対前年158件増）、Twitter登録者は2,467件（対前年714件増）、Instagram登録者は3,062件（対前年1,708件増）となるなど、着実にフォロワー数が増加したため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—	効果達成度評価点	—
取組に対する外部評価・意見			

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・庁内各課が、鮮度の高い情報発信を積極的に行えるように、広報意識の向上に向けた継続的な意識啓発が必要となっている。
今後の具体的な取組予定	・シティセールスを推進するため、質の高い情報発信を積極的に行う。

具体的取組評価結果票 (平成30年度分)

将来像	2 情報・共有	主管課	行政課
施策	③ 説明責任と透明性の拡充		
改革手段	1 分かる化の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	20

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
1		文書作成に関するマニュアルの充実	分かりやすい文書や帳票類の標準化を進め、分かりやすさや行政の説明力の向上を図る。	>>>&						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・文書事務の手引き等の活用や職員研修の実施により、分かりやすい公文書の作成と文書事務の効率化に努める。				
取組内容	【取組中】 ・文書事務についての知識と理解を深めるため、職員を対象に研修を行った。 ・「文書事務の手引き」及び「公用文作成のQ&A」を職員へ配布した。				
取組による効果	・文書事務の手引き等の活用により、分かりやすい公文書の作成と文書事務の効率化を図ることができた。 ・職員研修を行い、職員の文書事務についての知識を深めることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・文書事務の手引き等の活用や職員研修により分かりやすい公文書の作成と文書事務の効率化を行うことができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—	効果達成度評価点	—
取組に対する外部評価・意見			

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・文書事務についての知識が不足している職員もいるため、文書事務の手引き等を活用し、引き続き公文書の適正な作成の教育及び啓発を行う必要がある。
今後の具体的な取組予定	・文書事務の手引き等の活用や職員研修の実施により、分かりやすい公文書の作成と文書事務の効率化に努める。

具体的取組評価結果票 (平成30年度分)

将来像	2 情報・共有	主管課	財政課
施策	③ 説明責任と透明性の拡充		
改革手段	1 分かる化の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	20

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
2		豊川市の姿の作成・公表	次年度の豊川市の姿として、予算に加えて市民に身近な事業内容等を分かりやすい形で公表する。					・分かりやすさの向上 ・施策の認知度向上	財政課	
				・予算の姿の継続公表 ・取組内容を検討・充実化					関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・次年度の豊川市の姿として、予算に加えて市民に身近な事業内容等を分かりやすい形で公表する。				
取組内容	【取組中】 ・当初予算公表資料として作成する「予算の姿」に、写真や図を積極的に掲載することで、事業内容などを分かりやすく伝える資料を作成した。				
取組による効果	・写真や図を活用することで市民に分かりやすい形で予算と事業内容を公表できた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・写真や図を活用することで市民に分かりやすい形で予算と事業内容を公表できたため、目標どおりの効果達成とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・他市の公表方法なども研究し、より分かりやすい内容に改善していく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・今後も現在の取組みを継続する。

具体的取組評価結果票 (平成30年度分)

将来像	2 情報・共有	主管課	生涯学習課
施策	③ 説明責任と透明性の拡充		
改革手段	1 分かる化の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	20

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
3		新たな施策に関する出前講座の開催	主要な新規事業と新たに策定した計画を出前講座メニューとして位置づけ実施する。					・分かりやすさの向上 ・新たな施策の認知度向上	生涯学習課	
				講座の実施						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・利用状況について、生涯学習課で把握後、他課にも情報共有するなどして相互理解を深めたうえで、新たな施策に関する出前講座開設の可能性を引き続き模索していく。				
取組内容	【取組中】 ・関係各課と密に連携し、新たな施策に関する講座の開設及び、その他講座のリニューアルを実施した。 ・照会をかけ実績報告書の提出を促し、正確な利用状況の把握に努めた。				
取組による効果	・新たな施策に関する講座を開設することで、分かりやすさや認知度の向上を図る。 ・正確に利用状況を把握することで、今後の事業展開にも見通しが立つ。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・主要な新規事業及び新たに策定した計画を出前講座メニューと位置づけ実施したことで、施策の分かりやすさや認知度を向上させることができたので、目標どおりの効果達成度とした。 ・照会をかけるなどして実績報告の収集に取組み、その結果正確な利用状況を把握することができたので、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・利用状況の把握について、各課からの提出後は生涯学習課での把握に留まってしまっている。
今後の具体的な取組予定	・利用状況について、生涯学習課で把握後、他課にもフィードバックするなどして相互理解を深めたうえで、新たな施策に関する出前講座開設の可能性を引き続き模索していく。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	2 情報・共有	主管課	秘書課
施策	③ 説明責任と透明性の拡充		
改革手段	2 見える化の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	21

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
1		情報提供の充実	パブリシティの手引きの周知や広報研修・訓練を実施する。					・情報発信力の強化 ・見える化の推進	秘書課	
			・パブリシティの手引きの周知 ・危機管理広報研修等の実施							

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・パブリシティガイドの周知を行うとともに、随時見直しを検討する。				
取組内容	【取組中】 ・パブリシティの積極的な活用に向けて全庁的な周知を図った。				
取組による効果	・メールを利用した記者への情報提供は全庁的に定着しており、情報発信力が強化できている。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・記者発表資料のメール化により全庁的な業務の効率化が進み、記者クラブへの情報提供数が年間526件に上るなど、情報発信の強化が図られたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	- 取材価値を高めるため、報道資料の記載内容や表現の質を向上させる必要がある。 - メディア掲載に結びつく有効な報道発表手段を研究する必要がある。
今後の具体的な取組予定	継続してパブリシティガイドの周知を行うとともに、随時見直しを検討する。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	2 情報・共有	主管課	企画政策課
施策	③ 説明責任と透明性の拡充		
改革手段	2 見える化の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	21

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
3		事前評価結果の公表	庁内における評価などの事前評価の結果を公表する。	>>>>>>>>>>>>				・開かれた市政の実現	企画政策課	
				事前評価の結果公表					関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・今後も庁内評価における評価作業及び事業の取組についての実施状況（会議録等）をホームページ上において公開する。				
取組内容	【取組中】 ・庁内において実施した評価作業、評価を踏まえた事業の検討及び状況取組み状況について市ホームページ上における公開の実施に向けて取り組んだ。				
取組による効果	・政策の決定のプロセスや意見を市民に向けて公開することにより、開かれた市制の実現に寄与した。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・庁内評価の結果を公表できたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・公表結果を踏まえて効果的な事業の実施につながるよう、常に実施事業に対するP D C Aの実施に向けて担当課への意識付けが必要である。
今後の具体的な取組予定	・今後も現在の取組みを実施する。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	2	情報・共有	主管課	企画政策課
施策	③	説明責任と透明性の拡充		
改革手段	2	見える化の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組			該当ページ	21

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
4		各種計画策定状況の公開	各種計画策定の中途の状況を、統一的な体裁で公表する。					・透明性の向上	企画政策課	
				計画策定過程の公開					関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・各種計画策定状況に係る調査及び公開を引き続き実施する。				
取組内容	【取組中】 ・各課に各種計画策定状況について調査を実施するとともに、実施方針に基づき公開を行った。				
取組による効果	・市制の透明性が向上し、見える化の推進に寄与できた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・実施方針に基づき公開することで、計画策定状況の透明性の向上が図られたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・新たに策定された計画等について情報発信できるように、各課と情報を共有する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・今後も現在の取組を実施する。

具体的取組評価結果票 (平成30年度分)

将来像	2 情報・共有	主管課	財政課
施策	③ 説明責任と透明性の拡充		
改革手段	2 見える化の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	21

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
5		「市債四季報」の公開	市債残高を「市債四季報」により四半期ごとに公表する。	▶▶▶						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・市債残高を「市債四季報」により四半期ごとに公表する。				
取組内容	【取組中】 ・四半期ごとに、全会計の市債残高及び市民1人当たりの市債残高をホームページにて公表した。				
取組による効果	・市債残高を「市債四季報」により四半期ごとに公表することで、市政の財政状況の透明性向上が図られた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・全会計に係る市債残高の状況を、市民一人当たりの金額に換算するなどして、市民に分かりやすく情報発信し、財政状況の透明性の向上を図ることができたため、目標どおりの達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・公開形式（四季報の形態）と公開時期の検討をする必要がある。
今後の具体的な取組予定	・今後も現在の取組みを継続する。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	2 情報・共有	主管課	行政課
施策	③ 説明責任と透明性の拡充		
改革手段	2 見える化の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	22

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
6		情報公開制度の充実	情報公開制度の積極的な取組を図る。					・ 市政の透明性向上	行政課	
				正確でわかりやすい行政情報の提供						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・情報公開事務の手引きを活用し、職員の情報公開制度への理解を深めるとともに、適切に事務を実施する。				
取組内容	【取組中】 ・情報公開制度の理解を深めるとともに、事務を適切に実施するため、職員に対し研修を実施した。 ・各課等からの情報公開についての相談時に助言を行うとともに、積極的な情報提供を促した。				
取組による効果	・情報公開事務の手引きの周知及び職員研修により、職員の情報公開制度や事務手続についての理解を深めることができた。 ・制度の適切な運用や積極的な情報提供により、市政の透明性の向上を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・職員への制度の周知や教育により、制度の適切な運用や積極的な情報提供を図り、市政の透明性の向上に資することができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 情報公開制度や事務手続についての知識が不足している職員もいるため、引き続き職員に対する周知・教育を実施する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・ 情報公開事務の手引きを活用し、職員の情報公開制度への理解を深めるとともに、適切に事務を実施する。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	2 情報・共有	主管課	企画政策課
施策	③ 説明責任と透明性の拡充		
改革手段	2 見える化の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	22

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
7		審議会等の会議の公開	審議会等の会議の公開に関するガイドラインに基づき会議を公開する。					・市政の透明性向上	企画政策課	
			ガイドラインの適用状況の公開						関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・各審議会等の公開を引き続き実施する。				
取組内容	【取組中】 ・豊川市審議会等見える化ガイドラインに沿って、各審議会等で会議を公開した。				
取組による効果	・市政の透明性が向上し、「見える化」の推進に寄与できた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・審議会等の見える化ガイドラインにより各課等へ働きかけたとともに、審議会等（豊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議等）の会議を公開できたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・今後も引き続き透明性の向上が図られることを目的として、審議会等の会議を公開できるよう、職員に審議会等の見える化ガイドラインを周知することが必要である。
今後の具体的な取組予定	・今後も現在の取組みを実施する。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	2 情報・共有	主管課	企画政策課
施策	③ 説明責任と透明性の拡充		
改革手段	2 見える化の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	22

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
8		会議スケジュールの公開	会議のスケジュールをホームページなどで公開する。					・市政の透明性向上	企画政策課	
				ホームページなどで公開					関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・各審議会等のスケジュールの公開を引き続き実施する。				
取組内容	【取組中】 ・引き続き審議会等のスケジュールについて、市ホームページ内で案内を行った。				
取組による効果	・市の透明性が向上し、「見える化」の推進に寄与できた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・公開して開催する審議会などのスケジュールをホームページで案内することで、市政の透明性向上を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・今後も引き続き透明性の向上が図られることを目的として、会議スケジュールを公開できるよう、各課で会議スケジュールの情報提供を積極的に行っていくことが必要である。
今後の具体的な取組予定	・今後も現在の取組みを継続する。

具体的取組評価結果票 (平成30年度分)

将来像	2 情報・共有	主管課	行政課
施策	③ 説明責任と透明性の拡充		
改革手段	2 見える化の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	22

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				29	30	31	32			
9		行政手続* 制度の公表	行政手続の審査・ 処分基準や処理 期間などを統一 的に公開すると ともに、各課に説明 資料を備え置く。					・公平性の確保 ・市政の透明性向上	行政課	
				ホームページなどで公表						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げ た取組予定内 容・目標	・担当各課に個別票の内容確認を依頼し、必要に応じてホームページなどの更新を実施する。				
取組内容	【取組中】 ・法令や条例等に基づく手続の審査（処分）基準や処理期間などを整理した個別票をホームページで公開（申請に対する処分：557件、不利益処分：512件）するとともに各課に個別票を備え置いた。 ・法改正等による個別票の追加、廃止及び改正を行った。				
取組による効果	・個別票の内容確認を担当各課に依頼し、最新の個別票を公開するとともに各課へ備え置くことができた。				
収入増加額・支出 削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出 削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度 評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する 自己評価	・取組みによる最新の個別票の公開により、公平性の確保や市政の透明性の向上が図られたので、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・課によって個別票の内容等に違いがあるため、統一された内容となるように取組む必要がある。
今後の具体的 な取組予定	・引き続き担当各課に個別票の内容確認を依頼し、必要に応じてホームページなどの更新を実施する。

具体的取組評価結果票 (平成30年度分)

将来像	2 情報・共有	主管課	行政課
施策	③ 説明責任と透明性の拡充		
改革手段	2 見える化の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	22

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
10		外郭団体* に関する 情報公開	外郭団体の経営 状況などを公開 する。					・外郭団体の透明 性向上	行政課	関係各課
				ホームページで公開						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・今後も現在の取組みを継続する。なお、平成30年度以降は行政課が所管課として本取組みを実施する。				
取組内容	【取組中】 ・外郭団体に関する透明性の向上を図ることを目的として、引き続き外郭団体の見直し実施方針に基づき、外郭団体の概要整理票を作成し、財務状況を市ホームページで公開した。 【URL】 http://www.city.toyokawa.lg.jp/shisei/gyoseiunei/gyoseikaikaku/gaikakudantaiminaosi.html 対象の外郭団体は以下のとおり。 ・公益財団法人豊川市国際交流協会 ・公益社団法人豊川市シルバー人材センター ・公益社団法人豊川文化協会 ・株式会社本宮 ・豊川市開発ビル株式会社 ・豊川市土地開発公社 ・社会福祉法人豊川市社会福祉協議会 ・社会福祉法人豊川市保育協会 ・豊川市施設管理協会 ・豊川市観光協会				
取組による効果	・外郭団体の透明性が向上し、見える化の推進に寄与した。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・外郭団体の経営状況を公開することにより、団体の透明性の向上に効果が得られたので、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・経営状況について引き続き透明性が図られるよう努めることが必要である。
今後の具体的な取組予定	・今後も現在の取組みを継続する。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	財政課
施策	① 歳出の最適化		
改革手段	1 補助金などの見直し		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	23

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
1		各種団体の運営費補助金の削減	各種団体の運営費補助金を削減し、事業費の補助とする。					・市費単独補助金の縮減	財政課 関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・各種団体の運営費補助を削減し、事業費の補助とする。				
取組内容	【取組中】 ・平成31年度当初予算編成方針説明会において、各所属に見直しを依頼した。 ・平成31年度当初予算編成において、一部の補助金等を削減した。				
取組による効果	・各種団体の運営費補助を削減することで、市費単独補助金の縮減が図られた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	676	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・当初予算ベースで、各種団体の運営費補助を7件(676千円)削減できた。金額的には少額であったが、一定件数の削減が実施できたため、目標どおりの達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 様々な団体があることから、一律の廃止や削減が難しい状況である。
今後の具体的な取組予定	・ 今後も現在の取組みを継続する。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	財政課
施策	① 歳出の最適化		
改革手段	1 補助金などの見直し		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	23

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				29	30	31	32			
2		サンセット方式の徹底	新規補助金には 終期を設定し、再度継続の可否を検討するサンセット方式を徹底する。	>>>>>>>>>>>>>>>>				・市営単独補助金の縮減・抑制	財政課	
			・新規補助金への対応 ・終期到来補助金の見直し、廃止						関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・新規補助金には終期を設定し、再度継続の可否を検討するサンセット方式を徹底する。				
取組内容	【取組中】 ・平成31年度当初予算編成方針説明会において、新規補助金における終期設定などを説明するとともに、新規補助金の終期を記載した調書の提出を担当各課に依頼した。 ・平成31年度当初予算編成において、終期の到来した補助金の見直し、廃止を依頼した。				
取組による効果	・新規補助金には終期を設定し、再度継続の可否を検討するサンセット方式を徹底することにより、市費単独補助金の縮減・抑制につながった。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	27,738	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・事業内容や進捗状況を確認することで平成30年度末で3件の市単独補助金を終了（当初予算ベースで27,738千円削減）できたため、目標どおりの達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・サンセット方式の対象外となっている補助金の取扱いを検討する必要がある。 ・終期の到来した補助金に関し、各所属が廃止か継続かを判断するための基準設定について検討が必要である。
今後の具体的な取組予定	・今後も現在の取組みを継続する。

具体的取組評価結果票 (平成30年度分)

将来像	3 財政・資産	主管課	介護高齢課
施策	① 歳出の最適化		
改革手段	1 補助金などの見直し		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	23

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
3		金銭給付制度の見直し	市単独の現金給付の制度について廃止を含めて見直しを行う。	>>>						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・今後、直ちに敬老金の支給対象年齢等の見直しは予定していないが、県内及び近隣市町村の実施状況を確認しつつ、敬老金のありかたを検討していく。				
取組内容	【取組中】 ・敬老金として満80歳に5千円、数え88歳に1万円、満100歳以上に3万円を支給していたが、平成29年度より満80歳への支給を廃止した。 ・近隣市町村も同様に敬老金の支給の見直しをしており、他市の支給状況等の確認を行った。				
取組による効果	・満80歳の方への敬老金支給の廃止により、歳出の削減ができた。 ・平成30年度実績：11,670,000円 平成30年度（満80歳含む場合）：19,775,000円（満80歳対象者1,621人）				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	8,105	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・直ちに敬老金の支給年齢等の見直しは予定していないが、今後の見直しに向けて、平成30年度は近隣他市の実施状況確認を行った。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—	効果達成度評価点	—
取組に対する外部評価・意見			

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・敬老金支給の目的の一つである高齢者の所在実態調査という面においては、有効な代替策の実施には至っていない。
今後の具体的な取組予定	・今後は他の高齢者福祉サービスを見直す際に、再度敬老金支給対象年齢等の見直しや廃止を検討する必要がある。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	スポーツ課
施策	① 歳出の最適化		
改革手段	2 事務事業の見直し		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	24

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
2		体育施設の指定管理者公募の実施	体育施設に指定管理者制度を適用する。					・経費の削減 【11,786千円減】	スポーツ課	
			体育施設に指定管理制度を適用							

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・指定管理者との協定に基づき、適正な体育施設の運営管理を行う。				
取組内容	【取組中】 ・基本協定及び年度協定に基づき、指定管理者による管理運営を実施した。				
取組による効果	・陸上競技場を含む23体育施設に指定管理者制度を導入することにより、管理経費が11,786千円削減された。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	11,786		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	11,786	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・指定管理者制度の導入により、管理経費が削減され、管理運営業務の効率化が実現され、目標どおり効果達成とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 体育施設の実情を常に把握できるよう、情報交換を行う。
今後の具体的な取組予定	・ 指定管理者との協定に基づき、適正な体育施設の運営管理を行う。また、来年度からの次期指定管理者の公募にあたって、管理経費の削減と市民サービスの向上が図られるよう選定を行う。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	人事課
施策	① 歳出の最適化		
改革手段	2 事務事業の見直し		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	24

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
3		給与制度の見直し	各種給与・手当などを状況に応じて見直す。					・経費の削減	人事課	
				状況に応じて随時見直し						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・平成30年度以降においては、国家公務員等の改正状況を踏まえて、退職手当支給率を引下げる。				
取組内容	【取組中】 ・国家公務員の退職手当制度の改正にならない、平成30年度から退職手当支給率を引き下げた。				
取組による効果	・平成29年度退職手当支給率で計算した場合と比べて、平成30年度においては一般会計予算ベースでは32,614千円を削減した。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	32,614	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・退職手当支給率の引下げにより32,614千円を削減したため、目標どおりの達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・民間企業における支給水準との均衡を図っている国家公務員の退職手当制度の改正に準じて、適正な支給水準等を維持するように努める。
今後の具体的な取組予定	・平成31年度以降においては、引下げ後の退職手当支給率を継続実施する。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	財政課
施策	② 歳入の確保の強化		
改革手段	1 新たな収入確保の検討		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	25

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
1		使用料・手数料の見直し	無料施設などの有料化の検討を含めた使用料・手数料の見直しを行う。					・自主財源の確保	財政課	関係各課
				使用料・手数料の適正化						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・概ね4年毎に通常の見直しを実施し、適正な使用料及び手数料の設定を行う。 ・平成31年10月の消費税率の改定に向け、各施設の使用料等の見直しについて検討する。				
取組内容	【取組中】 ・安定した自主財源の確保のため、使用料、手数料に係る受益者負担の適正化を図ることを目的とし、改定ルールに沿った形で各施設の経費と収入を積算し、使用料、手数料の一部改定を実施した。				
取組による効果	・改定後の額で運用することで、自主財源の確保ができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	68	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・使用料等の改定により約6万8千円の収入の増加が見込まれる結果となった（H28改定に伴う効果額のスライド波及）。金額的には少額であるが、一定の増額が今後も見込まれるため、目標どおりの達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・平成31年10月の消費税率の改定時に、各施設の使用料等について消費税の増額分を反映させる必要がある。
今後の具体的な取組予定	・概ね4年毎に通常の見直しを実施し、適正な使用料及び手数料の設定を行う。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	スポーツ課 都市計画課
施策	② 歳入の確保の強化		
改革手段	2 広告主募集制度の充実		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	26

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
1		体育施設などのネーミングライツ実施	体育施設を始めとする公共施設の命名権を民間企業に数年間単位で付与する。					・自主財源の確保 【120千円増】	スポーツ課 都市計画課	詳細はP27
				・スポンサーの公募 ・ネーミングライツの実施						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ネーミングライツを希望する企業のニーズの把握に努めるとともに、施設に相応しいスポンサー企業を検討する。 ・豊川市催事場の命名権の実施企業と調整を図りながら、制度の見直しを検討する。				
取組内容	【取組中】 ・豊川市陸上競技場命名権取扱要領案及び同募集要項案の作成に取り組んだ。 ・実施企業と調整を行った。その結果、継続申請が提出され、平成31年4月から3年間の命名権取得が決定した。				
取組による効果	・自主財源の確保が図られ、施設の有効活用が期待できる。 ・豊川市催事場命名権取得料金収入により、平成31年4月から3年間分で360千円を確保した。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	120		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	120	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・ネーミングライツの具体的な実施に向け、豊川市陸上競技場命名権取扱要領案及び同募集要項案の作成に取り組んだため、計画どおりの進捗度とした。 ・豊川市催事場の命名権の取得期間が3年間延長されたため、目標通りの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・体育施設（陸上競技場）のネーミングライツについては、知名度や信用度など、その施設に相応しいスポンサーの獲得が望まれることから、公募選定に關して慎重に期する必要がある。 ・実施企業と調整を行い、今後も現在の取り組みを継続して実施してもらうことが重要である。
今後の具体的な取組予定	・ネーミングライツを希望する企業のニーズの把握に努めるとともに、施設に相応しいスポンサー企業を検討する。 ・命名権者が頻繁に変わること、市民に混乱を招かないよう、引き続き現在の取り組みを継続していく。

具体的取組評価結果票 (平成30年度分)(別掲)

将来像	3 財政・資産				主管課	スポーツ課
施策	② 歳入の確保の強化					
改革手段	2 広告主募集制度の充実					
具体的取組	1 体育施設などのネーミングライツ実施					
体育施設などのネーミングライツ実施における別掲					該当ページ	27

番号	重点	件名	改革工程				効果	主管組織	その他
			29	30	31	32			
1		体育施設のネーミングライツ実施					・未定	スポーツ課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ネーミングライツを希望する企業のニーズの把握に努めるとともに、施設に相応しいスポンサー企業を検討する。				
取組内容	【調整中】 ・豊川市陸上競技場命名権取扱要領案及び同募集要項案の作成に取組んだ。				
取組による効果	・自主財源の確保が図られ、施設の有効活用が期待できる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	—	
取組に対する自己評価	・ネーミングライツの具体的な実施に向け、豊川市陸上競技場命名権取扱要領案及び同募集要項案の作成に取り組んだため、計画どおりの進捗度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—	効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見				

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・体育施設（陸上競技場）のネーミングライツについては、知名度や信用度など、その施設に相応しいスポンサーの獲得が望まれることから、公募選定に関して慎重に期する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・ネーミングライツを希望する企業のニーズの把握に努めるとともに、施設に相応しいスポンサー企業を検討する。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)(別掲)**

将来像	3 財政・資産	主管課	都市計画課
施策	② 歳入の確保の強化		
改革手段	2 広告主募集制度の充実		
具体的取組	1 体育施設などのネーミングライツ実施		
体育施設などのネーミングライツ実施における別掲		該当ページ	27

番号	重点	件名	改革工程				効果	主管組織	その他
			29	30	31	32			
2		催事場のネーミングライツ実施	>>>>>>>>>>>>>>				・120千円増	都市計画課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・実施企業と調整を図りながら、制度の見直しを検討する。				
取組内容	【取組中】 ・実施企業と調整を行いその結果、継続申請が提出され、平成31年4月から3年間の命名権取得が決定した。				
取組による効果	・豊川市催事場命名権取得料金収入により、平成31年4月から3年間分で360千円を確保した。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	120		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	120	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・豊川市催事場の命名権の取得期間が3年間延長されたため、目標通りの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・実施企業と調整を行い、今後も現在の取り組みを継続して実施してもらうことが重要である。
今後の具体的な取組予定	・命名権者が頻繁に変わること、市民に混乱を招かないよう、引き続き現在の取り組みを継続していく。

具体的取組評価結果票 (平成30年度分)

将来像	3 財政・資産				主管課	都市計画課 一宮支所 音羽支所 御津支所 小坂井支所 スポーツ課 財産管理課
施策	② 歳入の確保の強化					
改革手段	2 広告主募集制度の充実					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	26

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
2		公共施設への 広告募集	公共施設に企業 広告を募集する。					・自主財源の確保 【1,232 千円増】	都市計画課 一宮支所 音羽支所 御津支所 小坂井支所 スポーツ課 財産管理課	詳細は P27
				豊川市催事場などへの広告募集						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・各施設で企業広告を募集し、自主財源の確保を図る。				
取組内容	【取組中】 ・7件の取組みを実施し、自主財源の確保を図った。（別掲にあるとおり）				
取組による効果	・取組みの実施により、年間1,154千円の財源が確保された。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	1,232		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	1,154	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・7件の取組みについて、おおむね一定の収入増加額を確保できたため目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・各施設で継続して収入を確保できるように、企業等への働きかけが必要である。（各施設の課題については、別掲にあるとおり）
今後の具体的な取組予定	・今後も取組みを継続する。（各施設の取組予定については、別掲にあるとおり）

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)(別掲)**

将来像	3	財政・資産	主管課	都市計画課
施策	②	歳入の確保の強化		
改革手段	2	広告主募集制度の充実		
具体的取組	2	公共施設への広告募集		
公共施設への広告募集における別掲			該当ページ	27

番号	重点	件名	改革工程				効果	主管組織	その他
			29	30	31	32			
1		催事場への広告募集					・72千円増	都市計画課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・豊川市催事場の広告掲載を継続するとともに、制度の見直しを図る。				
取組内容	【取組中】 ・豊川市催事場では、平成26年度から3箇所で開催を開始し、実施企業に変更はあるものの、平成30年4月1日から1年間3箇所全ての掲載が決定した。				
取組による効果	・豊川市催事場の広告収入により、72千円を確保した。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	72		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	72	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・豊川市催事場の広告は、3箇所の掲載を達成したため、目標通りの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・次年度以降も掲載箇所数が減ることのないように継続的に周知していく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・掲載箇所数を増加させるなど、さらなる自主財源の確保を検討する。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)(別掲)**

将来像	3 財政・資産	主管課	一宮支所
施策	② 歳入の確保の強化		
改革手段	2 広告主募集制度の充実		
具体的取組	2 公共施設への広告募集		
公共施設への広告募集における別掲		該当ページ	27

番号	重点	件名	改革工程				効果	主管組織	その他
			29	30	31	32			
2		一宮支所での広告募集	>>						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・一宮庁舎内壁面に掲示する企業広告を募集し、広告料収入を得る。				
取組内容	【取組中】 ・一宮庁舎内壁面に企業広告を掲示し広告料収入を得た。 2,000円×12か月×3枠				
取組による効果	・広告料収入による自主財源の確保ができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	72		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	72	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・壁面企業広告3枠の広告料収入が確保できたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 今後も現在の取り組みを継続する。
今後の具体的な取組予定	・ 今後も継続的に取り組む。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)(別掲)**

将来像	3	財政・資産	主管課	音羽支所
施策	②	歳入の確保の強化		
改革手段	2	広告主募集制度の充実		
具体的取組	2	公共施設への広告募集		
公共施設への広告募集における別掲			該当ページ	27

番号	重点	件名	改革工程				効果	主管組織	その他
			29	30	31	32			
3		音羽支所での広告募集	>>>>>>>>>>>>>>>>				・72千円増	音羽支所	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・庁舎の壁面に掲示する有料広告を募集し、広告料収入を得る。				
取組内容	【取組中】 ・庁舎の壁面に有料広告を掲示し、広告料収入を得た。 2,000円×12か月×3箇所				
取組による効果	・広告料収入による財源が確保できた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	72		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	72	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・庁舎の壁面3箇所の広告料収入が確保できたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・新たな広告主の発掘について検討する必要がある。 ・現在の広告主に継続して広告を掲載してもらうよう理解を求める必要がある。
今後の具体的な取組予定	・今後も現在の取組みを継続する。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)(別掲)**

将来像	3	財政・資産	主管課	御津支所
施策	②	歳入の確保の強化		
改革手段	2	広告主募集制度の充実		
具体的取組	2	公共施設への広告募集		
公共施設への広告募集における別掲			該当ページ	27

番号	重点	件名	改革工程				効果	主管組織	その他
			29	30	31	32			
4		御津支所での広告募集	>>>						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・庁舎の壁面に掲示する有料広告を募集し、広告料収入を得る。				
取組内容	【取組中】 ・庁舎の壁面に有料広告を掲示し、広告料収入を得た。 2,000円×12か月×2か所				
取組による効果	広告料収入による財源の確保ができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	72		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	48	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・庁舎入口の壁面に3か所掲示を予定していたが、1か所の掲示継続がなくなり2か所の広告料収入となったが、おおむね一定の収入増加額を確保できたため目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・新たな広告主の発掘について、検討する必要がある。 ・現在の広告主に継続して広告掲載してもらう必要がある。
今後の具体的な取組予定	・現在の広告主に継続してもらうと共に新たな広告主の発掘に取り組む。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)(別掲)**

将来像	3 財政・資産				主管課	小坂井支所
施策	② 歳入の確保の強化					
改革手段	2 広告主募集制度の充実					
具体的取組	2 公共施設への広告募集					
公共施設への広告募集における別掲					該当ページ	27

番号	重点	件名	改革工程				効果	主管組織	その他
			29	30	31	32			
5		小坂井支所での広告募集	▶▶▶▶▶▶▶▶				・72 千円増	小坂井支所	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・平成30年12月にこざかい児童館へ移動する予定のため、新規募集は行わない。また、1社が広告掲載期限終了のため、収入減となる。				
取組内容	【完了】 ・（仮称）小坂井地域交流会館への建替計画に伴い平成31年度に小坂井庁舎が取壊されるため、新規募集は行わなかった。				
取組による効果	・前年度比では広告掲載期限が終了した1社分の収入が減となったが、平成30年度末まで広告掲載期間がある広告主2社から広告掲載料（48,000円）の収入を得た。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	72		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	48	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・小坂井庁舎の解体に伴い新規の募集を行わなかったため、広告掲載期限が終了した1社分の広告掲載料が減となったが、予定されていたことであるため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・小坂井庁舎の解体に伴い、事業は平成30年度末で一旦完了。 ・今後については、平成33年度中の（仮称）小坂井地域交流会館への支所移転に向けて、広告掲載場所の確保・企業広告の掲載枠の募集について検討・調整する。
今後の具体的な取組予定	

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)(別掲)**

将来像	3	財政・資産	主管課	スポーツ課
施策	②	歳入の確保の強化		
改革手段	2	広告主募集制度の充実		
具体的取組	2	公共施設への広告募集		
公共施設への広告募集における別掲			該当ページ	27

番号	重点	件名	改革工程				効果	主管組織	その他
			29	30	31	32			
6		武道館などの市内体育施設での広告募集	>>>>>>>>>>>>>>				・72千円増	スポーツ課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・本制度の周知を図り、残りの掲載枠への広告掲載を進める。				
取組内容	【取組中】 ・平成28年7月から継続的に1枠、平成29年4月から単年度で1枠の申込みがあり、平成30年度4月から1枠、年度途中から1枠の計2枠の広告掲載が確保できた。				
取組による効果	・自主財源の確保が図られ、広告掲載による地域経済の振興が期待できる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	72		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	42	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・豊川市武道館内壁面広告募集の実施により、自主財源の確保を含め、広告掲載による地域経済の振興が期待できるため、目標どおり効果達成とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 広告費を削減する企業が多いなかでの、スポンサー企業の獲得。
今後の具体的な取組予定	・ 本制度の周知を図り、残りの掲載枠への広告掲載を進める。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)(別掲)**

将来像	3	財政・資産	主管課	財産管理課
施策	②	歳入の確保の強化		
改革手段	2	広告主募集制度の充実		
具体的取組	2	公共施設への広告募集		
公共施設への広告募集における別掲			該当ページ	27

番号	重点	件名	改革工程				効果	主管組織	その他
			29	30	31	32			
7		市役所での広告付番号案内表示システム等設置事業者の募集					・800千円増	財産管理課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・新たな広告媒体の発掘など、更なる自主財源の確保を目指す。				
取組内容	【取組中】 ・企業広告放映を含んだ市民課窓口番号案内表示システムと正面玄関行事モニター・行政モニターの設置及び企業広告入り公共施設案内看板の設置を公募により実施している。				
取組による効果	・庁舎にかかる行政財産目的外使用料として、800千円の歳入を確保した。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	800		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	800	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・目標どおり歳入を確保したので、効果達成とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・昨今の経済状況により広告費を削減する企業が多い中で、自主財源を確保するために広告方法などを工夫し、企業広告等の募集を強化する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・新たな広告媒体の発掘など、更なる自主財源の確保を目指す。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	一宮支所 音羽支所 御津支所 小坂井支所
施策	② 歳入の確保の強化		
改革手段	2 広告主募集制度の充実		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	26

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
3		公用車への 広告募集	支所の公用車の側面に掲示する 広告主を募集し、 自主財源の収入増を図る。					・自主財源の確保 【168 千円増】	一宮支所 音羽支所 御津支所 小坂井支所	
				広告掲載						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ 公用車の側面に掲示する有料広告を募集し、広告料収入を得る。				
取組内容	【取組中】 ・ 公用車に有料広告を掲示し、広告収入を得た。 $2,000\text{円} \times 12\text{か月} \times 7\text{台} = 168,000\text{円}$				
取組による効果	・ 広告料収入による財源が確保できた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	168		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	168	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・ 一宮支所、音羽支所、御津支所、小坂井支所について、公用車計7台の広告料収入が確保できたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・新たな広告主の発掘について検討する必要がある。 ・現在の広告主に継続して広告を掲載してもらうよう理解を求める必要がある。
今後の具体的な取組予定	・今後も現在の取組みを継続する。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	清掃事業課 企画政策課
施策	② 歳入の確保の強化		
改革手段	2 広告主募集制度の充実		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	26

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				29	30	31	32			
4		新たな広告 収入の獲得	新たな媒体への 広告掲載を実施 する。					・自主財源の確保 【150千円増】	清掃事業課 企画政策課	詳細はP27
				広告掲載						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ごみカレンダーへ広告掲載主を募集し、広告料収入を得る。 ・引き続き積極的に広告主の募集を行い、広告料収入の獲得を目指す。				
取組内容	【取組中】 ・ごみカレンダーへの広告掲載を実施し収入増を図る。 ・乳幼児向け東三河地域公共施設無料開放案内チラシ及びポスターへの広告掲載を実施した。				
取組による効果	・広告料収入による自主財源の確保ができた。 ・自主財源の確保を行い、市民サービスの向上に寄与する。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	150		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	126	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・ごみカレンダー（3口×30千円で90千円）へ広告掲載したため目標どおり効果達成度とした。 ・乳幼児向け東三河地域公共施設無料開放案内チラシ及びポスターへの広告掲載については、目標額に至らなかったが、前年掲載した事業者へ個別に連絡を行い、掲載事業者の確保に努めたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・引続き掲載事業者が確保できるように努める必要がある。 ・掲載事業者が確保できるように努める必要がある。
今後の具体的な取組予定	・広告主の募集を行い、広告料収入の獲得を目指す。 ・引き続き積極的に広告主の募集を行い、広告料収入の獲得を目指す。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)(別掲)**

将来像	3	財政・資産	主管課	清掃事業課
施策	②	歳入の確保の強化		
改革手段	2	広告主募集制度の充実		
具体的取組	4	新たな広告収入の獲得		
新たな広告収入の獲得における別掲			該当ページ	27

番号	重点	件名	改革工程				効果	主管組織	その他
			29	30	31	32			
1		ごみカレンダー等への広告掲載	>>&						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ごみカレンダーへ広告掲載主を募集し、広告料収入を得る。				
取組内容	【取組中】 ・ごみカレンダーへの広告掲載を実施し収入増を図る。				
取組による効果	・広告料収入による自主財源の確保ができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	90		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	90	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・ごみカレンダー（3口×30千円で90千円）へ広告掲載したため目標どおり効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 引続き掲載事業者が確保できるように努める必要がある。
今後の具体的な取組予定	・ 広告主の募集を行い、広告料収入の獲得を目指す。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)(別掲)**

将来像	3	財政・資産	主管課	企画政策課
施策	②	歳入の確保の強化		
改革手段	2	広告主募集制度の充実		
具体的取組	4	新たな広告収入の獲得		
新たな広告収入の獲得における別掲			該当ページ	27

番号	重点	件名	改革工程				効果	主管組織	その他										
			29	30	31	32													
2		乳幼児向け東三河地域公共施設無料開放案内チラシ及びポスターへの広告掲載	>	>	>	>	>	>	>	>	>	>	>	>	>	>	・60千円増	企画政策課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き積極的に広告主の募集を行い、広告料収入の獲得を目指す。				
取組内容	【取組中】 ・乳幼児向け東三河地域公共施設無料開放案内チラシ及びポスターへの広告掲載を実施した。				
取組による効果	・自主財源の確保を行い、市民サービスの向上に寄与する。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	60		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	36	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・目標額に至らなかったが、前年掲載した事業者へ個別に連絡を行い、掲載事業者の確保に努めたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・掲載事業者が確保できるように努める必要がある。
今後の具体的な取組予定	・引き続き積極的に広告主の募集を行い、広告料収入の獲得を目指す。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	企業立地推進課
施策	② 歳入の確保の強化		
改革手段	3 税収などの確保策の強化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	28

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
1		企業誘致の推進	各種優遇策の活用や誘致活動を展開し、企業を積極的に誘致する。					・自主財源の確保 【16,239 千円増】 ・立地企業の増加 ・雇用の創出	企業立地推進課	
				企業誘致優遇制度などの実施						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・企業立地優遇制度を継続して行う。 ・産業展への出展や情報交換会の開催等を通じた情報発信活動を行う。 ・新規工業用地開発に向けた調査・調整を実施する。				
取組内容	【取組中】 ・企業立地優遇制度（企業立地促進制度、市内企業再投資促進補助金、御津1区第2期分譲用地企業立地支援制度）を継続した。 ・企業誘致情報提供報奨制度を継続した。 ・産業展への出展や情報交換会を開催し、企業誘致及び情報発信活動を継続した。 ・新規工業用地開発に向けた調査・調整を実施した。				
取組による効果	・新たな企業進出により、自主財源の確保や雇用機会の創出につながられた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	86,170		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	55,802	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・平成26年度に完成した大木地区工業団地をはじめとする市内工業団地に優遇措置の認定を受けた進出企業が順次操業を開始したことで、固定資産税の増額につながっている。平成30年度には御津1区工業団地へ3社の企業進出が決定し、企業立地促進制度や御津1区第2期分譲用地企業立地支援制度の事業者として認定した。さらに、市内企業再投資促進補助金においても2社事業者として認定するなど、自主財源の確保や雇用機会の創出につながるものとなり、目標どおりの達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・市外企業への誘致活動を積極的に行うため、外部機関等の活用や企業訪問等により情報収集に更に注力する必要がある。 ・企業誘致における情報発信活動はシティセールスにも繋がるため、関係各課との連携により相乗効果が得られると考える。
今後の具体的な取組予定	・企業立地優遇制度を継続する。 ・企業誘致情報提供報奨制度を継続する。 ・産業展への出展や情報交換会の開催等を通じた情報発信活動を行う。 ・新規工業用地開発に向けた調査・調整を実施する。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	収納課
施策	② 歳入の確保の強化		
改革手段	3 税収などの確保策の強化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	28

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
2		差押え物件のインターネット公売の推進	差押えた物件をインターネットを活用した公表により処分する。					・自主財源の確保【1,000千円増】	収納課	
				随時売却の実施						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・滞納処分により確保された差押財産のうち、インターネット公売に適した財産については、随時公売を執行する。				
取組内容	【取組中】 ・【平成30年度 差押件数：不動産18件、自動車1件 搜索：12件】 差押えた物件については、公売を含めた折衝段階のため、執行には至っていない。また、搜索を12件行うも、差押えに値する財産の発見には至らなかった。				
取組による効果	・自主財源の確保が出来る。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	1,000		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	0	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	1点	目標に至らない効果達成
取組に対する自己評価	・滞納処分により確保された差押財産の公売については、適切な時期に公売を執行する必要があるが、平成30年度については折衝段階のため公売の執行には至っていないため、目標に至らない効果達成度とした。今後の折衝において完納見込みがない場合は、来年度以降適切な時期に公売を執行するため、継続的な取組みとして進めている。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 公売に供する差押物品の確保が必要である。
今後の具体的な取組予定	・ 滞納処分により確保された差押財産のうち、インターネット公売に適した財産については、随時公売を執行する。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	3 財政・資産				主管課	財産管理課
施策	② 歳入の確保の強化					
改革手段	3 税収などの確保策の強化					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	28

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
3		不用物品のインターネット公売の推進	不用となった物品の整理を行い、売却可能なものについて、インターネットで売却する。	>>>&						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・新たな不用物品（公用車・学校で不用となった備品等）の掘り起こしを行い、更なる自主財源の確保に努める。				
取組内容	【取組中】 ・各課から出てくる物品不用決定書の伺いを見て、随時、インターネット公売による売却が可能か判断している。平成30年度は自転車及びコインロッカーについてインターネット公売を実施した。				
取組による効果	・自転車2台を売却し、35,500円の収入を得た。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	50		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	36	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・収入増加額予定額は、未達成だったものの、不用物品を発掘し、インターネット公売を実施したので、目標どおりの効果達成とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 不用になったものの殆どが、これ以上は使えない状態になったものなので、不用物品の発掘が困難。また、事務手続きに労力が必要となる一方、高額落札が期待できる物品が少ない。
今後の具体的な取組予定	・ 新たな不用物品（学校で不用となった備品等）の掘り起こしを行い、更なる自主財源の確保に努める。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	3	財政・資産	主管課	市民税課
施策	②	歳入の確保の強化		
改革手段	3	税込などの確保策の強化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組			該当ページ	28

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
4		個人住民税の特別徴収の徹底	給与所得者の個人住民税の特別徴収を徹底する。	>>>>>>>>>>>>>>				自主財源の確保	市民税課	
				特別徴収の徹底						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・従業員3名以上の事業者で特別徴収未実施の事業者を特別徴収義務者として強制指定を行う。				
取組内容	【取組中】 ・従業員3名以上の事業者で特別徴収未実施の事業者を特別徴収義務者として強制指定した。また、特別徴収を猶予した事業者において、猶予理由が適当でない事業者に特別徴収制度への理解と協力を求める勧奨を行っている。				
取組による効果	・特別徴収義務者数は平成30年度10,011人で、平成27年度の6,913者と比較し、3,098者増加した。 ・特別徴収の納税者数は平成30年度が66,366人（給与所得の納税者数74,619人）で、平成27年度の54,785人と比較し11,581人増加した。 ・特別徴収率（給与所得者における特別徴収による納税義務者の割合）は平成30年度が88.93%で平成27年度の77.24%と比較して11.69%増加した。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・特別徴収義務者数は増加し、特別徴収率も上昇している。普通徴収とする適切な理由がない事業所に対し、一定の基準に基づいて確実に特別徴収義務者として指定を行うことができたことから目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 市外特別徴収義務者の特別徴収税額納入における不便さがある。 ・ マイナンバー制度の導入による特別徴収義務者の特別徴収事務に対する負担感の増加する。 ・ 愛知県主導の特別徴収一斉指定実施の予定がない。
今後の具体的な取組予定	・ 「地方税共通納税システム」の利用を特別徴収義務者へ啓発する。 ・ 特別徴収税額の納付チャネル拡大の検討を行う。 ・ 事業所の異動届出書の未提出による未納事案を減らすため、収納課の未納情報に基づき早期に書類の提出を勧奨する。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	財政課
施策	③ 財政健全化の推進		
改革手段	1 会計手法の検討		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	29

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
1		発生主義会計の導入	新公会計制度に基づく、発生主義会計を一般会計などにも導入し、財務諸表を分析して活用する。	>>>>>>>>>>>>>>>				・資産、償却、キャッシュフローの明確化 ・企業経営的視点の強化	財政課	
				財務諸表の作成、公表						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・総務省の要請により、全ての地方公共団体において、統一的な基準による財務書類等の整備が図られたので、財政運営に活用している先進地の視察を実施し、本市の今後の対応方法について検討する。				
取組内容	【取組中】 ・これまで準拠してきた基準モデルに代わり、団体間を同じ物差しで比較することのできる統一的な基準による財務書類等の整備を進めた。 ・外部研修への参加及び先進地視察等により、情報収集並びにスキルアップを図った。				
取組による効果	・資産、償却、キャッシュフローの明確化ができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・公表2年目ということもあり、前年度比較などの経年分析も含めながら予定通りに年度末公表できた。また、外部研修への参加及び先進地視察による情報収集等も含め、目標どおりの達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 作成する財務書類の活用方法について検討が必要である。
今後の具体的な取組予定	・ 経年分析や類似団体との比較をはじめ、「作る」から「使う」公会計へ向かって、引き続き他団体の先進事例を参考に、本市の今後の対応方法を検討する。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	下水管理課
施策	③ 財政健全化の推進		
改革手段	1 会計手法の検討		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	29

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
2		公共下水道事業等の地方公営企業法の適用	地方公営企業法を適用することで、事業経営の健全化と透明性の向上を図る。	>>>>>>>>>>>>>>>>				・経営状況、財務状況の明確化	下水管理課	
				資産調査、会計システムの構築、関係部局との調整		企業会計移行			下水整備課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・会計システムの仮稼働、資産調査の完了、予定貸借対照表・収支計画などの作成、関係法令改正・制定などを行う。				
取組内容	【取組中】 ・関係部署、税務署、金融機関と最終調整を行った。 ・会計システムを導入し、仮稼働及び平成31年度予算の作成を行った。 ・下水道関係職員の企業会計に関する基本的な知識の習得と意識の醸成を図るため、職員研修を行った。				
取組による効果	・関係部署等との調整、会計システムの導入、資産調査など企業会計移行のための準備を進めることができた。 ・予定通り平成31年4月1日から地方公営企業法適用による下水道事業会計に移行することができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・移行に向けて概ね予定どおり移行業務を行うことができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・昨年度まで支援委託していた資産調査や財務諸表作成業務を今後は職員で行うため、業務の精度を確保していくこと。
今後の具体的な取組予定	・今後も下水道職員研修を活用して企業会計に関する知識の習得を続け、資産調査や財務諸表作成等業務の運用フロー作成を進める。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	財政課
施策	③ 財政健全化の推進		
改革手段	2 経営基盤の強化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	30

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
1		財政計画の策定	本市の将来に渡る財政計画を策定する。					・将来を見据えた計画的な財政運営	財政課	
				中期財政計画の策定、公表						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・本市の将来に渡る財政計画を策定する。				
取組内容	【取組中】 ・中期財政計画（平成31年度～平成35年度）を平成30年5月に策定し、議会への配付及び公表を行った。				
取組による効果	・本市の将来に渡る財政計画を策定することにより、将来を見据えた計画的な財政運営につなげる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・当初予算を基準年度とした向こう5年間の推計を行い、将来に渡る財政の姿や運営上の課題を明らかにすることで、身の丈にあった財政規模による安定した財政運営を実現することを目的とした計画を策定することができたため、目標どおりの達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・地方公共団体を取り巻く環境、税制改正及び市の財政状況等の変化に対応するため、毎年度ローリング方式による適正な見直しが必要である。
今後の具体的な取組予定	・今後も現在の取組みを継続する。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	行政課 会計課
施策	③ 財政健全化の推進		
改革手段	2 経営基盤の強化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	30

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
2		外部アドバイザーの活用	公認会計士による経営状況の分析を行う。	>>>>>>>>>>>>>>>>				・経営分析を活用した財政の健全化	行政課 会計課	
				アドバイザーによる経営分析						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き公募により指定した公共施設の指定管理者の経営診断を継続して行うとともに、税理士の専門的見地からのアドバイスを受けながら経営状況の分析を行う。 ・公認会計士の専門的見地からのアドバイスを受けながら、財務状況の安定している金融機関で公金の運用を行う。				
取組内容	【取組中】 ・公募により指定した公共施設の健全な管理運営のため、指定管理者の直近3年間の決算報告書等をもとに、公認会計士に経営状況等の分析を依頼した。 ・公金運用先金融機関選定の参考資料とするため、公認会計士に公金運用先金融機関の財務状況の分析を依頼した。				
取組による効果	・公募により指定した公共施設の財政及び管理運営の健全化に寄与することができる。 ・財務状況の安定している金融機関に公金を運用することができる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・公募により指定した公共施設の指定管理者の経営状況等の分析を実施し、施設の財政及び管理運営の健全化に寄与することができたため目標どおりの効果達成度とした。 ・予定どおり財務状況の分析を実施し安全に公金の運用を行うことができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・経営基盤強化のため、外部アドバイザーによるリスク管理を引き続き行う必要がある。 ・財務状況の安全な金融機関へ公金を運用するために、引き続き外部アドバイザーによるリスク管理を行う必要がある。
今後の具体的な取組予定	・引き続き公募により指定した公共施設の指定管理者の経営診断を継続して行うとともに、税理士の専門的見地からのアドバイスを受けながら経営状況の分析を行う。 ・今後も継続して公金運用先金融機関の財務状況の分析依頼を行い、会計士の専門的見地からの助言を受けながら公金の運用を行う。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	財政課
施策	③ 財政健全化の推進		
改革手段	2 経営基盤の強化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	30

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
4		預金の効率的な運用	定期預金との運用比較を行い、債券運用を検討・実施する。					・自主財源の確保	財政課	
				債券運用の検討・実施					会計課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・「豊川市公金の保管、管理及び運用基準」に基づき、運用メリットが見込まれる場合は、今後も運用を実施する。				
取組内容	【取組中】 ・基金の運用において、定期預金との運用比較を行いつつ、「豊川市公金の保管、管理及び運用基準」の一部改正や「豊川市基金債券運用方針」の策定により所要の条件を整理しながら、満期を迎えた5億円の再運用に加え、新たに7億円運用開始した。				
取組による効果	・自主財源の確保ができる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・昨今の金利情勢を踏まえ、昨年度、基準の改正や運用方針の策定を行い、超長期債券の運用を実現することができ、債券運用額を増やすことで獲得利金も大幅に増やすことができたことから、目標どおりの達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・債券運用期間の超長期対応や購入可能債券の拡大など、安全性を前提とした運用をする中で最大限の経済性を発揮できるよう取り組んできたが、今後は借入額との相殺等にも配慮しながら適正な運用に努める必要がある。
今後の具体的な取組予定	・「豊川市公金の保管、管理及び運用基準」に基づき、運用メリットが見込まれる場合は、今後も運用を実施する。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	財政課
施策	③ 財政健全化の推進		
改革手段	3 予算編成の見直し		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	31

番号	誌	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
1		部枠配分項目の見直し	枠配分項目の見直しにより、真に必要な事業に予算配分する。	>>>>>>>>>>>>>>				・より適切な予算配分の実現	財政課	
				随時見直し						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ 枠配分項目の時点修正を継続しつつ、枠配分方式自体の見直しを今後検討する。				
取組内容	【取組中】 ・ 予算編成方針における枠配分項目決定時に、前年度予算編成時の問題点などを考慮し、時点修正を実施した。 ・ 一般財源要求限度額の設定では、通常枠の前年度当初予算に対する乗率を0.99とするも、労務単価の上昇等を考慮し、抑制枠の乗率を1.02とした。				
取組による効果	・ 予算編成方針における枠配分項目の見直しにより、適切な予算配分の実現につながった。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・ 枠対象経費については、一般財源要求限度額の範囲内で各課からの予算要求を実施できたため、目標どおりの達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・予算総額における枠配分対象額の比率が低く、枠配分効果が限定的となっている。現状以上の効果を出すためには、配分項目の拡大など時点修正以上の見直しが必要がある。
今後の具体的な取組予定	・枠配分項目の時点修正を継続しつつ、枠配分方式自体の見直しを今後検討する。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	3 財政・資産				主管課	財産管理課
施策	④ 公有財産の最適化					
改革手段	1 公共施設の長寿命化の推進					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	32

番号	誌	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
1		公共施設の長寿命化の推進	公共施設に係る経費の最小化や施設効用の最大化を図る経営管理の手法であるファシリティマネジメントを導入する。	>>&gt						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・小坂井地域交流会館（仮称）基本設計に基づき実施設計を実施する。 ・昨年度に引き続き、劣化調査を実施し、その調査結果を基に工事優先度を作成する。また、工事優先度から改修工事等として予算編成を行う。				
取組内容	【取組中】 ・住民説明会やWS（ワークショップ）等の実施を通じ、小坂井地域交流会館（仮称）に対する要望等を伺い、実施設計に取組んだ。 ・劣化調査は、対象施設273棟の調査を完了（延実施数359棟）し、その調査結果を基に工事優先度を作成し、39箇所の改修工事等として約8億円の予算編成を行った。				
取組による効果	・住民説明会やWS等で要望等の意見を伺うことで、小坂井地域交流会館（仮称）に対する地域住民の理解等が深まった。 ・劣化調査や工事優先度の作成を通じて、施設の日常管理や事後保全から予防保全に対する職員の意識が向上した。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・住民説明会やWS等を行うことで小坂井地域交流会館（仮称）に対する地域住民の一定の理解を得ることができたため小坂井地域交流会館（仮称）実施設計は、目標どおりの効果達成とした。 ・各課の要望等に捉われず劣化調査に基づいた結果から工事優先度の高い施設の改修工事等の予算編成を行ったため、目標どおりの効果達成とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・建設工事期間中の進捗状況を地域住民に適宜住民説明会等で示す必要がある。 ・施設の管理・運営体制や地域住民との関り方等について議論を行い、方向性を示す必要がある。
今後の具体的な取組予定	・小坂井地域交流会館（仮称）実施設計に基づき建設工事を実施する。 ・昨年度に引き続き、劣化調査を実施し、その調査結果を基に工事優先度を作成する。また、工事優先度から改修工事等として予算編成を行う

具体的取組評価結果票 (平成30年度分)

将来像	3 財政・資産	主管課	企画政策課
施策	④ 公有財産の最適化		
改革手段	2 施設の見直し及び処分		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	33

番号	品目	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				29	30	31	32			
2		公共施設の 広域利用推 進	同種の複数施設 と他市町村の施 設とを相互利用し て本市の施設の あり方を見直す。					・経費の削減	企画政策課	
				広域連携の取組にあわせ随時見直し検討					関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げ た取組予定内 容・目標	・引き続きファシリティマネジメントと連携しつつ施設のあり方を見直すとともに、他市町村との施設相互利用について、検討を継続する。				
取組内容	【調整中】 ・引き続き他市町村との施設相互利用について、検討を継続する。				
取組による効果	・施設に係る運営及び維持経費の削減が見込まれる。				
収入増加額・支出 削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出 削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度 評価点	—	
取組に対する 自己評価	・工程どおりに進捗しているため、計画どおりの進捗度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・本市のファシリティマネジメントの取組とあわせて、今後の施設のあり方について検討を実施したうえで広域的な調整を行う必要がある。
今後の具体的 な取組予定	・ファシリティマネジメントと連携しつつ施設のあり方を見直すとともに、他市町村との施設相互利用について、検討を継続する。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	3	財政・資産	主管課	建築課
施策	④	公有財産の最適化		
改革手段	3	保有財産などの利活用の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組			該当ページ	34

番号	誌	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
2		老朽化した市営住宅の整理統合	老朽化している市営住宅から入居者を既設住宅へ移転させ、住宅を廃止する。	>>>&						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き訪問等を行い、平成30年度までに残りの入居者の移転を完了させるとともに、入居者が退去した住棟について順次解体する。				
取組内容	【取組中】 ・入居者を対象に調査を行い、移転先の希望や移転時期などを調整し、条件があったところから順次移転をさせている。 ・戸別訪問等を行い、移転に向けての相談を行っている。				
取組による効果	・平成30年度までに富士見台住宅7戸中7戸、みなと住宅9戸中8戸の移転が完了した。 ・平成31年度中の移転予定戸数は、みなと住宅1戸、萩住宅7戸である。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・平成28～30年度の3ヵ年度では、全16戸中15戸（93.75%）の移転完了に止まり、平成30年度までに16戸すべての移転完了には至らなかったが移転の目処がたっているため目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・移転対象者の中には、本人の個人的な理由等で移転の交渉が難航している入居者がいる。
今後の具体的な取組予定	・みなと住宅入居者については、引き続き訪問等を行い、平成31年度までに残りの入居者の移転を完了させるとともに、入居者が退去した住棟について順次解体する。萩住宅入居者については平成31年度から3年間の移転事業を実施する。

具体的取組評価結果票 (平成30年度分)

将来像	3 財政・資産	主管課	財政課
施策	④ 公有財産の最適化		
改革手段	3 保有財産などの利活用の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	34

番号	種別	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				29	30	31	32			
3		借地の返還 ・買取	引き続き借用するか、返還するか、購入するかを再検討する。	・・・	>	>	>	>	・借地料の削減	財政課 関係各課
				方針の検討	取組実施					

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・今回の検討結果に基づいて関係者と調整実施していく。				
取組内容	【取組開始】 ・平成30年度以降の借地料の見直しのため、担当課ヒアリング等を経て、引き続き借用する以外の方向性として、①平成32年度までに実施を見込むもの、②長期的な視点で実施を見込むもの、③今後の方向性等を検討したもの、の3つの方向性を得ることができた。				
取組による効果	・借地料の削減が期待される。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・土地所有者との交渉や県の事業進捗に左右されるなど、外的要因により進捗が異なるものの、一定の方向性を示すことで、今後も引き続きゴールを意識して取り組むことができるようになったため、目標どおりの達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・土地所有者との交渉や県の事業進捗などの外的要因に呼応して進めるとともに、ファシリティマネジメント推進事業において策定される各計画にも配慮して事業を実施していくことが必要である。
今後の具体的な取組予定	・今回の検討結果に基づいて関係者と調整実施していく。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	水道整備課
施策	④ 公有財産の最適化		
改革手段	3 保有財産などの利活用の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	34

番号	品目	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
4		水道施設の統廃合	効率的な施設利用を図るため、施設の統合・廃止を行う。	>>>>>>>>>>>>>>>				- 経費の削減 - 水道水の安定供給	水道整備課	
				各施設の統合・廃止						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・老朽化施設を廃止する。				
取組内容	【取組中】 ・平成28年度、29年度に中山配水池を改修し、赤坂配水池エリアをカバーできるようになったため、老朽化した赤坂配水池を廃止した。				
取組による効果	・老朽化施設の廃止により、施設更新費用が削減できる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	75,000		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	84,000	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	3点	目標を超える効果達成
取組に対する自己評価	・赤坂配水池の廃止が計画通り実施でき、施設更新費用を予定額より削減出来たため目標を超える効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 廃止した施設の撤去を計画的に進める必要がある。
今後の具体的な取組予定	・ 施設の統合・廃止を順次進める。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	財産管理課
施策	④ 公有財産の最適化		
改革手段	4 維持管理コストの見直し		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	35

番号	品目	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
1		電力自由化による電力契約の変更	電力の自由化により、安価な電力へ切り替える。	>>>>>>>>>>>>>>>				・電気料金の削減【27,303千円弱】	財産管理課	
				供給先の切り替え、検証						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・現契約を継続更新するか新規入札を行うか、電力情勢等を勘案したうえで検討する。				
取組内容	【取組中】 ・新電力事業者との調整により、平成30年度以降もメリットを出すため、既契約63施設の基本料金を下げることにより6,088,380円(①)、新たに契約した16施設で10,512,579円(②)、丸紅と契約している3施設で5,956,375円(③)、低圧等91施設で4,955,486円(④)、市全体で、前年度に比較し①～④で年間27,512,820円の電気料金を削減した。				
取組による効果	・中部電力との電気料金比較は、平成30年度の前年度では、27,303千円の削減であったが、平成30年度実績は、63施設については、4～12月実績より32,922千円の削減となっている。上記取組内容の②～③については、平成31年度以降に削減効果があります。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	27,303		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	32,922	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	3点	目標を超える効果達成
取組に対する自己評価	・基本料金の引き下げによる効果は、平成30年度電気料金の削減予定が27,303千円に対して、実績は32,922千円であり、5,619千円上回ったこと、また平成31年度以降は、更に37,513千円の効果が見込まれるので、目標を超える効果達成とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・今後、電力事情が大きく変化していくことも予想されるため、随時、電力情勢を注視していく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・現契約を継続更新するか新規入札を行うか、電力情勢等を勘案したうえで検討する。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	環境課
施策	④ 公有財産の最適化		
改革手段	4 維持管理コストの見直し		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	35

番号	品目	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
2		再生可能エネルギーや新エネルギー・省エネルギー設備の導入	太陽光発電システムや蓄電池などの導入。LED照明設備への変更を行う。					・節電による経費の削減 ・CO2排出抑制	環境課 関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・新設、建替、増築にあわせた太陽光発電システムや省エネタイプの照明設備の導入を進める。				
取組内容	【取組中】 ・豊川市内の道路照明灯の一括LED化。（リース方式、期間H29～H39年度） ・豊川市小坂井東小学校校舎（教室）の照明器具をLED化した。 ・豊川市ゆうあいの里「南障害者生活介護施設」の照明器具を一部LED化した。				
取組による効果	・照明灯などをLED化することにより消費電力が削減されコスト削減ができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・省エネタイプの照明設備（照明灯などのLED化）を導入することにより、消費電力が削減されコスト削減ができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・太陽光発電システムや蓄電池などの導入には多額の費用が必要となる。 ・省エネタイプの照明設備は、照明設備単独でのコスト削減量を数値化することが非常に難しい。
今後の具体的な取組予定	・新設、建替、増築にあわせた太陽光発電システムや省エネタイプの照明設備の導入を進める（具体的な計画は未定）。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	4	組織・仕組	主管課	財政課
施策	①	トップマネジメントの確立		
改革手段	1	トップマネジメントの確立		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組			該当ページ	36

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
2		経営方針の構築	次年度以降の行政経営に関する方針を明確化し、総合計画実施計画や予算編成等に反映する。					・意思決定の明確化	財政課	
				・財政収支の推計方法を検討、作成、各種計画への反映 ・中期財政計画の策定					企画政策課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・現況や推計を踏まえ、次年度以降の行政経営に関する方針を明確化し、総合計画実施計画や予算編成等に反映する。				
取組内容	【取組中】 ・平成29年度決算を基準年度とする35年度までの財政収支の推計方法を検討し、作成及び各種計画へ反映した。 ・平成30年度当初予算を基準年度とする35年度までの財政収支の推計方法を検討し、中期財政計画を平成30年5月に策定した。				
取組による効果	・財政収支の推計方法を作成し、各種計画に反映することで、経営方針が構築され、意思決定の明確化が図られた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・総合計画実施計画の策定など各種計画に反映できたため、目標どおりの達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・地方公共団体を取り巻く環境の変化により、財政状況も大きく変わることが予想されるため、毎年度、ローリング方式による見直しが必要である。
今後の具体的な取組予定	・毎年度、ローリング方式による見直しを行い、今後も現在の取組みを継続する。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	4 組織・仕組	主管課	行政課
施策	② 柔軟な組織・権限の見直し		
改革手段	1 組織の見直し		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	37

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
1		組織・機構の改正	現組織の問題点や社会情勢に応じた組織のあり方を検討し、組織体制の見直しを適宜実施する。	>>>>>>>>>>>>>>>					行政課	
				現組織の問題点や社会情勢に応じた見直しを適宜実施				・組織の適正化 ・事務効率の向上	関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・各課に対して組織改正についての調査を実施し、各課における問題点、課題の把握に努め、必要に応じた組織改正を行う。				
取組内容	【取組中】 ・平成31年度から1部増加し、1部30係減少したため、13部49課110係及び4支所の組織とした。 ・産業部と環境部を統合し、産業環境部に名称変更した。 ・建設部を分割し、都市整備部を新設した。				
取組による効果	・産業部と環境部を統合することで、産業活動や農林行政の一元的な対応をすることができる。 ・都市整備部を新設することで、都市基盤整備の効果的な推進を図ることができる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・事務事業の内容を踏まえ、必要に応じた組織・機構の改正を実施することにより、組織の適正化が図られたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・地域主権改革や権限移譲による事務事業の増加への対応など本市の取り巻く環境の変化に対応できる組織改正や定員適正化計画に連動した組織改正を行う必要がある。
今後の具体的な取組予定	・各課に対して組織改正についての調査を実施し、各課における問題点、課題の把握に努め、必要に応じた組織改正を行う。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	4 組織・仕組	主管課	人事課
施策	② 柔軟な組織・権限の見直し		
改革手段	1 組織の見直し		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	37

番号	誌	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
3		横断的組織の拡充・整備	政策研究活動や庁内プロジェクトといった横断した組織を拡充・整備する。					- 課題対応の迅速化 - 困難課題への対応強化	人事課	
				グループによる困難課題解決の調査・研究					関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き、「政策実現調査・研究活動支援制度」を平成30年度も実施する。				
取組内容	【取組中】 ・年度初めに「政策実現調査・研究活動支援制度」の希望者を公募し、13テーマに必要な経費の支援を行った。				
取組による効果	・組織を横断し、政策形成能力の向上及び専門的でより高度な知識の習得を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・平成30年度は、制度を活用した13テーマのうち3テーマが課をまたがる課題（組織を横断した共通する課題）であり、期待する効果が得られたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・「政策実現調査・研究活動支援制度」が効果的に活用されるよう、適切に周知を行う必要がある。
今後の具体的な取組予定	・引き続き、「政策実現調査・研究活動支援制度」を平成31年度も実施する。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	4 組織・仕組	主管課	行政課
施策	② 柔軟な組織・権限の見直し		
改革手段	2 外郭団体の見直し		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	38

番号	誌	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
1		外郭団体の見直し	外郭団体の見直し実施方針に基づき、外郭団体を見直す。	>>>						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・今後も現在の取組みを継続する。なお、平成30年度以降は行政課が所管課として本取組みを実施する。				
取組内容	【取組中】 ・外郭団体の見直しを図ることを目的として、引き続き外郭団体の見直し実施方針に基づき、外郭団体の概要整理票を作成し、財務状況及び経営改善行程を市ホームページで公開した。 【URL】 http://www.city.toyokawa.lg.jp/shisei/gyoseiunei/gyoseikaikaku/gaikakudantaiminaosi.html 対象の外郭団体は以下のとおり。 ・公益財団法人豊川市国際交流協会 ・公益社団法人豊川市シルバー人材センター ・公益社団法人豊川文化協会 ・株式会社本宮 ・豊川市開発ビル株式会社 ・豊川市土地開発公社 ・社会福祉法人豊川市社会福祉協議会 ・社会福祉法人豊川市保育協会 ・豊川市施設管理協会 ・豊川市観光協会				
取組による効果	・外郭団体の自立性の確保とともに、外郭団体の見直しに係る具体的な経営改善計画を策定し、適正な関係の構築を維持したうえで見直しを進めることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・概要整理票を作成し各団体の経営改善表を作成することにより、外郭団体の経営状況の改善を図ることができたので、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・外郭団体の見直しに係る具体的な経営改善計画を策定し、適正な関係の構築を維持したうえで見直しを進めるために、取組みを継続していく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・今後も現在の取組みを継続する。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	4 組織・仕組	主管課	財政課
施策	③ マネジメントサイクルの確立		
改革手段	1 事業実施決定方法の見直し		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	39

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
2		予算編成方法の見直し	予算編成の実施方法を実施計画策定の見直しや評価の実施などにあわせて見直す。					・意思決定力の強化 ・意思決定過程の明確化	財政課	
				-----					企画政策課	
				総合計画実施計画との連携						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・権限移譲可能な対象費目の検討、メリット・デメリットの検証を予算編成方針作成時に実施する。				
取組内容	【取組中】 ・予算編成方針作成時に予算権限の移譲（枠配分項目の見直し等）について検討した。 ・ファシリティマネジメント関連事業における予算権限移譲について、予算要求や査定時にFMの結果を反映した予算編成を実施した。				
取組による効果	・意思決定力の強化が図られた。 ・意思決定過程の明確化が図られた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・予算編成方針作成時に予算権限の移譲（枠配分項目の見直し等）について検討したこと及びFM関連事業における予算権限移譲について、予算要求や査定時にFMの結果を反映することができたため、目標どおりの達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・他部署との調整（権限移譲の依頼・受入）が必要である。 ・枠配分方式については一定の効果が出ているが、現状以上の効果を出すためには、さらなる見直しが必要である。
今後の具体的な取組予定	・権限移譲可能な対象費目の検討、メリット・デメリットの検証を予算編成方針作成時に実施する。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	4 組織・仕組	主管課	企画政策課
施策	③ マネジメントサイクルの確立		
改革手段	1 事業実施決定方法の見直し		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	39

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
3		各種計画の策定や進捗管理の明確化	各課などで管理する計画の策定方法や進捗管理をガイドラインに基づき明確化する。	>>>>>>>>>>>>>>>>				- 政策決定の明確化 - 管理体制の強化	企画政策課	
				ガイドラインに基づく取組実施					関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ガイドラインに基づき計画が策定されるよう、引き続き職員に周知する。				
取組内容	【取組中】 ・豊川市各種計画策定等ガイドラインに基づき、計画を策定するよう周知した。				
取組による効果	・計画策定方法の明確化・効率化を図るとともに、実効性の高い計画の策定を図ることができる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・計画策定や進捗管理の基準について豊川市各種計画策定等ガイドラインによって明確化し、周知できたので、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・豊川市各種計画策定等ガイドラインに基づき計画が策定されるよう、引き続き職員に周知することが必要である。
今後の具体的な取組予定	・今後も現在の取組みを継続する。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	4 組織・仕組	主管課	企画政策課
施策	③ マネジメントサイクルの確立		
改革手段	1 事業実施決定方法の見直し		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	39

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
4		職員や各課からの意見聴取の推進	職員や市の各組織に対し、一定のルールのもと事業や制度などの意見を求め、反映する。					・実施判断の明確化 ・実施判断力の強化	企画政策課	
				各種計画に対する意見募集の随時実施					関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・各課の計画等について庁内から広く意見が聴取できるよう、引き続き職員に制度を周知する。				
取組内容	【取組中】 ・「庁内パブリックコメント制度」に基づき、意見聴取の推進を図った。				
取組による効果	・政策等の質の向上が図られるとともに、職員間の相互協力の気運が高まる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・取組みの実施により、本制度の利用に限らず、各課の計画等について庁内へ広く意見を募集することが浸透してきたので、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・各課の計画等について庁内から広く意見が聴取できるよう、引き続き職員に制度を周知することが必要である。
今後の具体的な取組予定	・今後も現在の取組みを継続する。

具体的取組評価結果票 (平成30年度分)

将来像	4 組織・仕組	主管課	企画政策課							
施策	③ マネジメントサイクルの確立									
改革手段	2 評価手法の充実									
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	40							
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				29	30	31	32			
1		内部評価の実施	事業の所管部課が行う自己評価や職員間で行う庁内における評価といった事業の内部評価を実施する。	内部評価の実施				・事業の効率的な展開	企画政策課 関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・各課において、指標を重視した事業の実施に取組むよう働きかけを行っていく。				
取組内容	【取組中】 ・実施計画の策定において、必要性、有効性、効率性の側面より事業の評価を行う取組を開始した。 ・客観的指標の情報活用を図るよう、「RESAS」の活用研修を人事課と連携して開催した。				
取組による効果	・庁内評価による事業の磨き上げと効率的な事業展開が期待できる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・事業の見直しの際に内部評価を活用し、評価結果に基づく必要な対応や事業決定に反映されており、期待される効果が得られているので、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・事業の効率的な展開を図るために、必要性を始めとしたさまざまな側面、特に客観的な指標に基いた検討が必要である、
今後の具体的な取組予定	・各課において、指標を重視した事業の実施に取り組むよう引き続き働きかけを行っていく。

具体的取組評価結果票 (平成30年度分)

将来像	4 組織・仕組	主管課	企画政策課							
施策	③ マネジメントサイクルの確立									
改革手段	2 評価手法の充実									
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	40							
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				29	30	31	32			
2		外部評価の実施	市民などによる事前・事後の事業評価を実施する。	外部評価の実施				・改善の推進 ・事業実施選択の促進 ・事業の質の向上 ・意思決定の明確化	企画政策課	関係各課

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・今後も総合計画実施事業のうち、まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲載する事業について、まち・ひと・しごと総合戦略会議で外部ヒアリングを実施する。				
取組内容	【取組中】 ・総合計画実施計画事業のうち、まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲載する事業について、まち・ひと・しごと創生総合戦略会議で外部ヒアリングを実施した。				
取組による効果	・市民などからの意見により、事業内容の質の向上や改善が期待できる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・平成29年度に実施したまち・ひと・しごと創生総合戦略に係る事業において、外部の目線による意見交換および評価を実施したため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—	効果達成度評価点	—
取組に対する外部評価・意見			

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・引き続き様々な分野で外部評価が実施できるようにする必要がある。
今後の具体的な取組予定	・今後も総合計画実施事業のうち、まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲載する事業について、まち・ひと・しごと総合戦略会議で外部ヒアリングを実施する。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	4 組織・仕組	主管課	秘書課
施策	④ マーケティング機能の強化		
改革手段	1 マーケティング機能の強化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	41

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
1		電子市政モニター制度の活用	電子行政モニター制度を事業検討過程の一環として活用する。					- 実施判断の明確化 - 実施判断力の強化	秘書課	
				制度の活用					関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・モニター登録者の年齢分布に留意しながら、継続して電子市政モニター制度を実施する。				
取組内容	【取組中】 ・年6回のアンケートを実施した（対象者数100人） ①町内会活動（回答率：91%）②多文化共生（回答率：90%）③クラウドファンディング（回答率：86%）④広報とよかわ（回答率：88%）⑤ごみの収集及び食品ロス（回答率：85%）⑥議会だより（回答率：81%）				
取組による効果	・各施策や事業における市民ニーズ、理解度・認知度を把握することができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・6つのテーマの平均回答率は86.8%と高く、担当課へのフィードバックと合わせ、ホームページを通してアンケート結果を市民に公開できたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・モニター応募者の年齢層に偏りがあるため、幅広い年代への周知が必要となっている。
今後の具体的な取組予定	・モニター応募者の更新・拡大を図るため、広報紙やホームページと合わせ、民間のモニター登録サイト等を活用しながら、継続して電子市政モニター制度を実施する。

具体的取組評価結果票 (平成30年度分)

将来像	4 組織・仕組	主管課	企画政策課
施策	④ マーケティング機能の強化		
改革手段	1 マーケティング機能の強化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	41

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
2		アンケート調査などの実施方法の構築	事業ごとに実施するアンケート調査などの効果的な実施方法を構築する。					・実施判断の明確化 ・実施判断力の強化 ・事務の効率化	企画政策課	実施時期 未定
				実施方法の検討				関係各課		

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・効果的なアンケートの実施方法について、幅広く情報を収集する必要がある。				
取組内容	【調整中】 ・政策の策定にあたってビッグデータの活用を図ることが推奨されているが、その重要性の認識を深めるとともに「RESAS」の活用促進を図ることを目的として研修を実施した。				
取組による効果	・アンケート調査の実施方法だけでなく過去のトレンド等様々な情報を活用することにより、事務の効率化が見込まれる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	—	
取組に対する自己評価	・計画どおりにデータ把握に係る各種取組みの調査・検討を行っているため、計画どおりの進捗度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・情報技術の進化とともに、新たなツールが提供されることが予想されるため、より効果的であると思われる手法についても引き続き調査・検討が必要であると思われる。
今後の具体的な取組予定	・様々な効果的な実施方法について検討を実施する。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	5 人材・品質				主管課	人事課
施策	① 少数精鋭の推進					
改革手段	1 人材育成の推進					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	42

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
2		職員の専門性の向上策の実施	資格取得補助制度を推進する。					・専門知識・資格の取得促進	人事課	
				資格試験合格者に経費の一部補助						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・今後も現在実施している取組みを継続する。				
取組内容	【取組中】 ・スペシャリスト養成推進費補助金を継続して実施し、延11名の支援を行った。 ・市町村アカデミー等派遣研修を継続実施し、費用対効果を勘案し受講者の選定を行った。				
取組による効果	・職員の専門性の向上を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・スペシャリスト養成推進費補助金による支援や市町村アカデミー等派遣研修の実施により、多くの職員の専門性の向上を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・行政需要が高度・多様化するなか、ますます職員の専門性の向上を図る必要がある。
今後の具体的な取組予定	・継続して、スペシャリスト養成推進費補助金による支援や市町村アカデミー等の派遣研修により、職員の専門性の向上を図っていく。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	5 人材・品質	主管課	人事課
施策	① 少数精鋭の推進		
改革手段	1 人材育成の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	42

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
3		学習的職場風土の醸成策の実施	庁内インターンシップ*やオープンカレッジ*形式の自主研修を実施する。	>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>				・学習的職場風土の醸成 ・キャリアプラン*形成機会の醸成	人事課	
				庁内インターンシップやオープンカレッジの実施						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・各課の協力を仰ぎつつ、庁内インターンシップ及び庁内オープンカレッジを継続して実施する。				
取組内容	【取組中】 ・庁内インターンシップを実施し、22名（採用2年目）が受講した。 ・庁内オープンカレッジを実施し、111名（8講座）が受講した。				
取組による効果	・他部署の業務を経験・知ること、自身のキャリアプランを考える機会とすることができた。 ・学習風土の醸成を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・庁内インターンシップと庁内オープンカレッジの実施により、学習風土の醸成やキャリアプラン形成機会の醸成を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 庁内インターンシップについては、各課の受入協力が必要である。 ・ 庁内オープンカレッジについては、メニューの充実に各課の協力が必要なことと、最少催行人数を定めているため、必ずしも希望どおりの講座が受けられるわけではなく、講師（担当課）との調整が必要である。
今後の具体的な取組予定	・ 各課の協力を仰ぎつつ、庁内インターンシップ及び庁内オープンカレッジを継続して実施する。

具体的取組評価結果票 (平成30年度分)

将来像	5 人材・品質	主管課	人事課
施策	① 少数精鋭の推進		
改革手段	1 人材育成の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	42

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
4		EQ*検査の実施	EQ 検査を実施し、組織全体又は所属ごとの診断や、個人への診断結果を伝達する。					・職員研修の向上 ・人材の育成	人事課	
				研修の実施						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・平成30年度は休講とし、その後については、研修体系の見直しを行う中で、検討していく。				
取組内容	【調整中】 ・平成30年度は実施しなかった。				
取組による効果	・特になし。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	—	
取組に対する自己評価	・取組み内容がないため、自己評価はなし。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・平成29年度までに、管理監督者である課長級から係長級まで一通り受講を終え、平成30年度については実施していない。今後、実施の是非について検討が必要である。
今後の具体的な取組予定	・平成31年度も引続き休講とし、その後については、研修体系の見直しを行う中で、検討していく。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	5 人材・品質	主管課	人事課
施策	① 少数精鋭の推進		
改革手段	1 人材育成の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	42

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
5		人事評価制度の適切な運用	人事評価の評価結果を各職員に確実に伝達して人材育成につなげる。	>>>>>>>>>>>>>>>				*人材育成の向上	人事課	
				研修、評価を随時実施						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・人事評価制度マニュアルを平成30年度版に改訂し、適切な運用がなされるよう周知する。 ・新任係長級を対象に人事評価制度研修を引き続き実施する。 ・現在の臨時・非常勤職員の人事評価制度への適用を検討する。				
取組内容	【取組中】 ・人事評価制度マニュアルを平成30年度版に改訂し、適切な運用がなされるよう周知をした。 ・新任係長級37名を対象に、人事評価制度研修を実施した。 ・職員アンケートの結果、概ね適切に運用されていると判断し、見直しは行っていない。				
取組による効果	・人事評価制度の適切な運用が行われ、人材育成や人事配置、処遇反映に活用が図られた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・人事評価制度マニュアルの周知と人事評価制度研修の実施により、人材育成の向上が図られたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・人材育成のさらなる向上につなげるため、人事評価制度の継続した周知・研修等により、適切な運用を図る必要がある。
今後の具体的な取組予定	・人事評価制度マニュアルを平成31年度版に改訂し、適切な運用がなされるよう周知する。 ・新任係長級を対象に人事評価制度研修を引き続き実施する。 ・現在の臨時・非常勤職員の人事評価制度への適用を検討する。

具体的取組評価結果票 (平成30年度分)

将来像	5 人材・品質				主管課	人事課
施策	① 少数精鋭の推進					
改革手段	1 人材育成の推進					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	43

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
6		上司の人材育成能力の向上策の実施	OJT*推進のための職場研修指導者養成研修*を実施する。部下成長度自己チェックを適性申告書*に盛り込む。					・職員の能力向上	人事課	
				課長補佐級職員を対象に研修実施						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・平成30年度は、研修名を「○J T推進リーダー養成研修」に変更し、新任課長補佐級を対象に実施する。また、基礎編と実践編の2ヵ年研修とせず、1ヵ年の研修とする。				
取組内容	【取組中】 ・新任課長補佐23名を対象に○J T推進リーダー養成研修を実施した。				
取組による効果	・○J T推進リーダー養成研修を行うことで、○J Tに関する理解を深め、職場での実践スキルの習得を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・○J T推進リーダー養成研修の実施により、職員の能力向上を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・職場の○J T推進のために、継続して実施していくことが必要である。
今後の具体的な取組予定	・継続して、新任課長補佐級を対象とした○J T推進リーダー養成研修を実施する。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	5 人材・品質	主管課	人事課
施策	① 少数精鋭の推進		
改革手段	1 人材育成の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	43

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				29	30	31	32			
7		学び続ける意欲の保持・向上策の実施	目標管理シート*や業績評価シート*に自己啓発目標の項目を追加する。					・自己啓発意欲の向上	人事課	
				目標管理シートや業績評価シートの運用						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・目標管理シート及び業績評価シートに自己啓発目標に関する項目を引き続き設ける。 ・自己啓発を支援するためのスペシャリスト養成推進費補助金を継続実施する。				
取組内容	【取組中】 ・目標管理シート及び業績評価シートに自己啓発目標に関する項目を設けた。 ・自己啓発を支援するためのスペシャリスト養成推進費補助金を実施し、延11名に対し支援を行った。				
取組による効果	・それぞれの取組み実施により、自己啓発意欲の向上を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・目標管理シート及び業績評価シートに自己啓発目標に関する項目の記載を行い、スペシャリスト養成推進費補助金による支援を行ったことで、自己啓発意欲の向上を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 職員の自己啓発意識の維持・向上のために、継続して実施できるようにすることが必要である。
今後の具体的な取組予定	・ 目標管理シート及び業績評価シートに自己啓発目標に関する項目を引き続き設ける。 ・ 自己啓発を支援するためのスペシャリスト養成推進費補助金を継続実施する。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	5 人材・品質	主管課	人事課
施策	① 少数精鋭の推進		
改革手段	1 人材育成の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	43

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
8		信頼される職員づくりの実施	法令遵守や情報セキュリティ・個人情報保護を徹底する。					・情報セキュリティ・個人情報保護レベルの向上 ・職員の意識向上	人事課 情報システム課 行政課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・内容や実施方法の見直しを図りながら、引き続き現在の啓発、研修などを実施する。				
取組内容	【取組中】 ・公務員倫理に関する研修及び全職員への通知啓発を実施した。 ・新規採用職員情報セキュリティ研修を実施した。				
取組による効果	・通知による啓発、研修を実施することにより、法令遵守に関する職員の知識と意識の向上を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・取組み内容の実施により法令遵守に対する意識の向上を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 職員の法令遵守、綱紀粛正意識のさらなる向上を図るために、事業の継続が必要である。
今後の具体的な取組予定	・ 内容や実施方法の見直しを図りながら、引き続き現在の啓発、研修などを実施する。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	5 人材・品質	主管課	人事課
施策	① 少数精鋭の推進		
改革手段	2 定員適正化の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	44

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
2		優秀な人材の確保	応募者の増加に努め、職員採用試験のあり方を創意工夫する。	>>>>>>>>>>>>>>				・定員適正化の円滑な推進	人事課	
				募集職種・人員の確保						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・受験者の質・量確保のため、総合検査（SPI）方式の試験や民間経験者対象の採用試験を継続実施する。 ・大学等へのPR、積極的なインターンシップの受入を継続し、採用試験の一般方式、総合検査（SPI）方式ともに全員面接を実施する。				
取組内容	【取組中】 ・多くの民間企業が利用している総合検査（SPI）を導入した採用試験を継続実施した。 ・本市採用試験の受験が見込まれる大学等（2校）の就職説明会等へ赴き、本市のPRを行った。 ・公務員セミナーを本市主催で実施し、本市の仕事を紹介した。 ・ホームページや東海地域インターンシップ推進協議会の活用などによる積極的なインターンシップの受入を行った。 ・採用試験の一般方式とSPI方式ともに応募者の全員面接を行うなど、人物重視の採用試験を実施した。				
取組による効果	・景気が上向いている影響で地方自治体の受験者が減少する傾向ではあるが、上記取組により、一定の応募者の確保に繋がった。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・一般方式とSPI方式を合わせた採用予定人数73名（事務30、土木技師8、建築技師2、保健師2、管理栄養士1、歯科衛生士1、消防8、保育士20、事務（障害）1）に対し、採用者57名（事務22、土木技師4、建築技師0、保健師2、管理栄養士1、歯科衛生士1、消防8、保育士18、事務（障害）1）であった。一般方式とSPI方式については、採用予定人数に満たなかったが、民間経験者等を対象とした採用試験を実施するなど、結果として退職者数を補填することができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・第5次定員適正化計画策定時から行政を取り巻く状況が大きく変化しており、計画数を上回る職員数を確保していく必要がある。そのため、次期定員適正化計画の策定を見据えた人材確保策を検討する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・受験者の質・量確保のため、総合検査（SPI）方式の試験や民間経験者対象の採用試験を継続実施する。 ・大学等へのPR、公務員セミナーの開催（本市主催）や積極的なインターンシップの受入を継続実施する。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	5 人材・品質				主管課	人事課
施策	① 少数精鋭の推進					
改革手段	2 定員適正化の推進					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	44

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
3		多様な採用形態の活用	任期付職員*、再任用職員、嘱託員、臨時職員のそれぞれの特徴に合った配置を行う。	>>						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引続き、再任用職員、嘱託員、臨時職員及び育児休業代替任期付職員を有効に活用する。				
取組内容	【取組中】 ・職員の負担軽減等に対応するため、再任用職員、嘱託員、臨時職員を活用した。 ・育児休業によるマンパワーの不足を補うため、育児休業代替任期付職員4名の任用を更新し、新規で1名採用した。				
取組による効果	・職員の負担軽減を図ることができた。 ・育児休業代替任期付職員の採用により、育児休業によるマンパワーの不足を補うことができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・再任用職員、嘱託員、臨時職員及び育休代替任期付職員の活用により、職員の負担軽減とマンパワー不足を補うことができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 市民ニーズの変化に伴う行政需要の増加やワーク・ライフ・バランスの一層の推進に伴う仕事のあり方の変化に対応するため、引続き多様な採用形態を活用する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・ 引続き、再任用職員、嘱託員、臨時職員及び育児休業代替任期付職員を有効に活用する。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	5 人材・品質	主管課	人事課
施策	① 少数精鋭の推進		
改革手段	3 政策形成・分析能力の向上		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	45

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
1		職員の自律的な能力開発	能力診断ツールによる自己チェックとキャリアプラン [*] を作成する。	>>>>>>>>>>>>>>				・政策立案能力の向上	人事課	
				・政策実現に向けた調査・研究活動への支援 ・管理職の政策提言制度の実施 ・適性申告書 [*] や業績評価シート [*] の活用						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・自身のキャリアプランについて考える機会とするため、適性申告書を活用するとともに、一般職員前期研修及び主任研修において、マイプランチェックシートの活用を図る。				
取組内容	【取組中】 ・係長級以下の職員を対象に適性申告書を実施し、一般職員前期研修及び主任研修においてマイプランチェックシートを活用した。 ・一般職員前期研修において、「豊川市役所ジョブローテーション指針」について解説し、自身のキャリアプランを意識するための一助とした。				
取組による効果	・自身のキャリア形成に対する意識の向上を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・前年度に掲げた目標どおり取組みを進めることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 職員の自律的な能力開発を進めるため、上記取組を継続する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・ 自身のキャリアプランについて考える機会とするため、適性申告書を活用するとともに、一般職員前期研修及び主任研修において、マイプランチェックシート等の活用を図る。

具体的取組評価結果票 (平成30年度分)

将来像	5 人材・品質	主管課	情報システム課
施策	② 窓口サービスの向上		
改革手段	1 より身近で便利で快適な窓口サービスの実現		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	46

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
2		より身近で 便利で快適 な窓口サー ビスの実現	支所で iPad を利用し、テレビ電話の機能を用いた事務手続きを行う。					・市民サービスの 向上	情報システム課	
				新たなサービス利用の検討					各支所	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ iPadの利用率を上げるため、翻訳アプリの導入について検討を行う。				
取組内容	【取組開始】 ・ 前年実施したアンケート調査にて各課より出てきた要望を取りまとめ、要望の多かった翻訳アプリ等の導入を検討した。 ・ 利用課の要望および利用端末の性能に最も適した「翻訳アプリ」と「コミュニケーション支援アプリ」を選定し、全利用端末に導入した。				
取組による効果	・ 翻訳アプリおよびコミュニケーション支援アプリの導入により外国人対応や聴覚障害者とのコミュニケーションにおいて充実したサービスの提供ができるようになった。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	3点	計画を超える進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・ 新規アプリの導入を実施し、充実したサービスの提供ができる環境を整備することができた。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—	効果達成度評価点	—
取組に対する外部評価・意見			

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・ 各課へ配備しているiPadのiOSサポートが終了しているため、今後、新規のアプリの導入が困難である中、利用促進をどのように進めていくか検討する。
今後の具体的な取組予定	・ 新規導入アプリの使用感、要望・意見等を収集して、iPadの利用促進を図る。

具体的取組評価結果票 (平成30年度分)

将来像	5 人材・品質				主管課	市民課
施策	② 窓口サービスの向上					
改革手段	1 より身近で便利で快適な窓口サービスの実現					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	46

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
3		住民票等の発行 証明書の見直し	個人番号カードを使って、コンビニエンスストアで住民票などの証明書の交付を行う。	● ●						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・市イベントなど様々な機会を捉え、コンビニ交付サービスの周知活動を行う。 ・交付端末機の窓口設置の検討を行う。				
取組内容	【取組中】 ・おいでん祭、広報とよかわを活用して、コンビニ交付サービスの周知活動を実施した。				
取組による効果	・平成30年度1,446件のコンビニ交付を実施し、市民サービス向上に寄与することができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・コンビニ交付サービスへのPRとして、おいでん祭、広報、ホームページへの掲載などを実施し、コンビニ交付を普及拡大することができたため、目標どおりの効果達成とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・コンビニ交付サービスの利便性をさらにPRする必要がある。
今後の具体的な取組予定	・カード交付時、住所異動届出、郵送による証明書の請求をした方に対し、パンフレットを配布し、コンビニ交付サービスの周知を行い、コンビニ交付サービスの普及拡大のため、周知活動を行う。 ・交付端末機の設置の検討を行う。

具体的取組評価結果票 (平成30年度分)

将来像	5 人材・品質	主管課	人事課
施策	② 窓口サービスの向上		
改革手段	2 職員の接遇能力の向上		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	47

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				29	30	31	32			
1		接遇向上策の実施	「おもてなCityとよかわ」を実施する。	 各種接遇向上事業の実施				・継続実施による職員の接遇向上	人事課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・接遇向上施策である「おもてなCityとよかわ」の充実を検討し、継続実施する。				
取組内容	【取組中】 ・「おもてなCityとよかわ」として、下記の事業を実施した。 おもてなC強化月間、年替りスキルアップ研修（接遇編）、臨時職員等おもてなし力向上セミナー、接遇実地診断研修、とよかわおもてなし講習会、「おもてなC」卓上プレートの設置、「おもてなC」ポスターの掲示、全職員「コンシェルジュ」化の推進、アダプトプログラムの実施、職員の接遇に関する情報共有				
取組による効果	・接遇に対する意識の向上を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・継続して「おもてなCityとよかわ」を実施することで職員の接遇に対する意識を向上することができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—	効果達成度評価点	—
取組に対する外部評価・意見			

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・接遇に関してはゴールがないため、継続して実施していくことが必要である。
今後の具体的な取組予定	・接遇向上施策である「おもてなCityとよかわ」の充実を検討し、継続実施する。

具体的取組評価結果票 (平成30年度分)

将来像	5 人材・品質	主管課	中央図書館
施策	③ 行政情報化の推進		
改革手段	1 行政サービスの高度化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	48

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				29	30	31	32			
2		ICタグ・利用システムの検討	図書館資料など(貸本を含む)にICタグによる管理システムを導入する。					・事務の簡素化 ・図書等の適切な管理	中央図書館	実施時期未定
				導入自治体の調査・研究						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・業者から見積徴収するなど、引き続き調査研究を進める。				
取組内容	【調整中】 ・「ICタグ方式」などの各管理方式の長所や短所をしっかりと見極め、さらなる改良やコスト面での改善などの情報収集に努め、最適なタイミングで最良な方式を取り入れていけるよう研究を継続する。				
取組による効果	・有効性や費用対効果について検証した結果、現状では、多大な導入経費が必要となるのに対し、それに見合った経常経費の削減や事務の効率化が見込めないため、豊川市全体については直ちに導入すべきとの考えには至らなかった。 ・ICタグの導入に最適なタイミングを慎重に見極めることが重要であると分かった。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	—	
取組に対する自己評価	・実施した調査研究により現状の把握を進めたことから、計画通りの進捗度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・ICタグの導入時には、一時的に従来のバーコードと導入するICタグが並存する状況となるため、ICタグの導入費用と維持費用の他に、従来のバーコード＋タトルテープ（盗難防止）費用への二重投資が、完全移行までの一定期間必要となる。
今後の具体的な取組予定	・業者から見積徴収するなど、引き続き調査研究を進める。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	5 人材・品質	主管課	情報システム課
施策	③ 行政情報化の推進		
改革手段	1 行政サービスの高度化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	48

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
3		わかりやすく便利な電子申請の推進	あいち電子申請・届出システム [※] の活用を推進する。					- 事務の効率化 - 市民サービスの向上	情報システム課	
				電子申請の推進					関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・利用促進およびシステムの新規利用への抵抗感を抑制するためにマニュアルの策定を行い、周知する。				
取組内容	【取組中】 ・システムの利用方法を分かりやすく周知し、システム利用への抵抗感を抑制するために簡易マニュアルの作成し、全庁向けに公開した。 ・県や他自治体における電子申請・届出システムの利活用事例を全庁向けに公開し、電子申請の活用を呼びかけた。				
取組による効果	・電子申請の推進により、事務の効率化や市民サービスの向上が図られた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・電子申請の周知により、申請件数は例年と同水準程度の実績は保てているため、目標どおりの効果達成とした。 平成28年度申請件数12,945件 平成29年度申請件数11,269件 平成30年度申請件数11,338件				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・システムの利用状況を各課ごと細かく分析すると「利用する課」は頻繁に利用をし、「利用しない課」は全く利用しない「二極端」の利用状況になっているため、「利用していない課」に関心をもってもらえるような周知等を実施する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・利用頻度の少ない課に関心をもってもらうため、県や他自治体での活用事例等の情報を収集し、全庁向けに公開をする。また今年度作成した簡易マニュアル等の整備を行い、システム利用への抵抗感を抑制して全庁的に電子申請が利用される風土を醸成する。

具体的取組評価結果票 (平成30年度分)

将来像	5 人材・品質	主管課	秘書課
施策	③ 行政情報化の推進		
改革手段	1 行政サービスの高度化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	48

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
4		災害時の情報連携	災害時に市のホームページに被害があった場合の被害情報の発信を連携して行う。	取組実施				・情報提供の円滑化 ・市民サービスの向上	秘書課 防災対策課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・他市との情報連携、民間IT事業者との災害協定など、災害時に市民へ情報を伝えるために最も有効な手法について引き続き調査し、体制の構築に向けた取組を進める。				
取組内容	【取組中】 ・災害時における情報発信力を強化するため、ホームページ更新用のモバイルルーターを導入し、庁舎外での更新・発信作業を想定した訓練を実施した。				
取組による効果	・モバイルルーターを活用した情報発信について、その有効性を確認することができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・ホームページ更新用モバイルルーターの導入により、災害時における情報発信体制を強化することができたため、計画どおりの進捗度とした。 ・災害時におけるホームページ用予備サーバーを設置する予算措置を講じることができたため、計画どおりの進捗度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—	効果達成度評価点	—
取組に対する外部評価・意見			

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・市民が情報を収集しやすい環境の整備と合わせ、情報弱者に配慮した発信方法を検討する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・引き続き、災害発生時に市民へ情報を伝えるために有効な手法について調査し、体制の構築に向けた取組を進める。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	5 人材・品質	主管課	情報システム課
施策	③ 行政情報化の推進		
改革手段	2 行政サービスの効率化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	49

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
1		住民情報システムの運用	住民情報関連システムを運用し、即時連携可能とする。					・市民サービスの向上 ・コストの削減 ・事務処理の効率化 ・大規模災害対策の強化	情報システム課	平成32年度に次期システム運用予定
			・システムの運用 ・次期システムの検討・導入準備			システム、次期システムの運用		関係各課		

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ 現行システムが安定して稼働するよう必要となる対策や検討を行う。				
取組内容	【取組中】 ・ 調達業務全 38 業務に係るシステムが全てが安定的、継続的に稼働している。 ・ 停電を想定した非常時優先業務及び応急復旧業務を行うための初動対応訓練を実施した。				
取組による効果	・ システム利用期間を 7 年 3 か月と想定して、これまでの費用(自庁型)と今回の費用(クラウド型)を比較したところ、35パーセント以上の削減効果が認められた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・ 大きな障害もなく、安定的にシステムを稼働できたため、目標通りの効果達成とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・平成33年度より次期システムに更新となるため、平成30年度に業者選定を行った。今後はシステム構築を行うため、引き続き関係団体と調整を行いながら進める。
今後の具体的な取組予定	・引き続き、現行システムが安定して稼働するよう必要となる対策や検討を行う。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	5 人材・品質	主管課	情報システム課
施策	③ 行政情報化の推進		
改革手段	2 行政サービスの効率化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	49

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
2		行政情報システムの運用	行政情報関連システムを運用し、効率的な行政運営をする。					・コストの削減 ・事務処理の効率化 ・大規模災害対策の強化	情報システム課	
				システムの運用					関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・今後も継続して安定的に稼働するよう必要な対策及び検討を行う。				
取組内容	【取組中】 ・行政情報システムを安定的、継続的に稼働させる。				
取組による効果	・システム利用期間を8年3か月と想定して、これまでの費用（自庁型）と今回の費用（クラウド型）を比較したところ、30パーセント以上の削減効果が認められた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・1年間、大きな障害なく安定的にシステムを稼働できたため、目標どおりの効果達成とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・システムの安定的な稼動が必要である。
今後の具体的な取組予定	・今後も継続して安定的に稼動するよう必要な対策及び検討を行う。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	5 人材・品質	主管課	行政課
施策	④ 業務改善の推進		
改革手段	1 業務改善の意識高揚と改善の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	50

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				29	30	31	32			
2		業務改善を 図る人材育 成の実施	自由なアイデアを 引き出すための 人材育成を実施 する。					・職員の業務改善 意識の向上	行政課	
				・業務改善研修の実施 ・人事評価制度における意識付け					人事課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・職員に対して、T-1グランプリを通して業務改善スキルの共有が図れるように、他課や他市などの業務改善の取組事例等の情報発信を行う。				
取組内容	【取組中】 ・T-1グランプリの一環として「カイゼン週間」を設定し、他課の業務改善の取組事例について各課に紹介し、業務改善への意識の高揚を図った。				
取組による効果	・他課などの業務改善の取組事例を紹介することにより、職員が身近な視点でカイゼンを考える機会を持つことができ、業務改善意識及び業務改善スキルの向上を図ることができたと考えられる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・T-1グランプリを通して他課などの業務改善の取組事例を紹介することにより、業務改善意識及び業務改善スキルの向上を図る取組みができたので、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・T-1グランプリで実践した業務改善スキルを実施課の職員だけのものとしないうように、引き続き業務改善スキルを共有していく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・職員に対して、T-1グランプリを通して業務改善スキルの共有が図れるように、引続き他課や他市などの業務改善の取組事例等の情報発信を行う。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	5 人材・品質	主管課	行政課
施策	④ 業務改善の推進		
改革手段	1 業務改善の意識高揚と改善の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	50

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
3		業務スクラップ運動の推進	仕事カイゼンの取組の一つとして業務スクラップ部門を設け、業務スクラップ運動を推進する。	>>>>>>>>>>>>>>>>				・業務の効率化	行政課	
				業務スクラップ運動の実施						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続きT-1グランプリの中で、業務スクラップの取組みを実施し、さらなる業務の効率化を図る。				
取組内容	【取組中】 ・T-1グランプリの提案書をチェック表として活用し、業務スクラップを取組みの視点として取り入れてT-1グランプリを実施した。				
取組による効果	・T-1グランプリの提案書について、10件の業務スクラップに関する取組みがあり、うち6件が実施完了した。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・T-1グランプリの取組として業務スクラップを実施することで、6件の業務について業務量が軽減され、業務の効率化が図られたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・業務スクラップの割合が全体の約6%と低いため、業務スクラップの推進を継続していく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・引き続きT-1グランプリの中で、業務スクラップの取組みを実施し、さらなる業務の効率化を図る。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	5 人材・品質				主管課	行政課
施策	④ 業務改善の推進					
改革手段	1 業務改善の意識高揚と改善の推進					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	50

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
4		内部統制*の推進	業務の有効性及び効率性に関する事務リスクの評価(リスクマネジメント)を実施する。					・職員の業務改善意識の向上 ・業務の効率化 ・法令等の遵守	行政課	
				実施方法の調査・研究		取組実施			関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・内部統制アドバイザーによる人材育成を引き続き行う。 ・業務手順の可視化を試行的に行う。				
取組内容	【取組開始】 ・本市の内部統制導入に向けて計画的に体制を整備していくため、内部統制導入方針を策定した。 ・内部統制アドバイザーによる研修を4回実施した。 ・作業部会所属部署を対象として、全19業務について業務手順の可視化を試行的に実施した。 ・内部統制整備の対象とする事務を決定した。				
取組による効果	・内部統制アドバイザーの指導等により、職員が内部統制の重要性を認識し、理解を深めることができた。 ・業務手順の可視化について、対象事務に潜むリスクの識別等を行うための有効な手法であるか検討することができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	3点	計画を超える進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・平成30年5月に策定した内部統制導入方針に基づき、内部統制アドバイザーによる研修の受講及び内部統制推進チームを設置し、内部統制整備の対象とする事務の決定を行ったことから計画を超える進捗度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 職員に向けて内部統制の周知を図る必要がある。 ・ 内部統制の推進方法を検討していく必要がある。
今後の具体的 な取組予定	・ 業務手順の可視化作業を実施する。 ・ 職員に向けて内部統制制度の周知を図る。

**具体的取組評価結果票
(平成30年度分)**

将来像	5 人材・品質	主管課	人事課
施策	④ 業務改善の推進		
改革手段	2 職場環境の向上		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	51

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
2		組織目標の共有化の実施	目標管理制度*などを活用して組織目標を共有化する。					・目標達成による成果の向上 ・役割分担、職員間コミュニケーション、職場の一体感の醸成	人事課	
				目標管理制度の実施						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・管理職の目標管理制度を実施する。 ・新任課長級及び新任課長補佐級を対象に、目標管理制度研修を実施する。 ・各部、部門の目標を庁内LANに掲示し、組織目標の共有を図る。				
取組内容	【取組中】 ・管理職の目標管理制度を実施した。 ・新任課長級及び新任課長補佐級を対象に、目標管理制度研修を実施し、51名が参加した。 ・各部、部門の目標を庁内LANに掲示し、組織目標の共有を図った。				
取組による効果	・目標を明確化することによって、自己コントロール能力、部下育成能力、働く意欲の向上を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・目標管理制度の活用により、職員の能力向上や働く意欲の向上を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 所属職員全員への組織目標の共有化の徹底を図る必要がある。
今後の具体的な取組予定	・ 管理職の目標管理制度を実施する。 ・ 新任課長級及び新任課長補佐級を対象に、目標管理制度研修を実施する。 ・ 各部、部門の目標を庁内LANに掲示し、組織目標の共有を図る。

具体的取組評価結果票 (平成30年度分)

将来像	5 人材・品質	主管課	人事課
施策	④ 業務改善の推進		
改革手段	2 職場環境の向上		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	51

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				29	30	31	32		関係組織	
3		職員の役割と責任の明確化	目標管理制度・人事評価制度を推進して、上司と部下の役割分担や業務を担う立場を明らかにする。					・円滑な事務の推進 ・市民サービスの向上 ・人材育成能力の向上	人事課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・目標管理制度及び人事評価制度を実施する。 ・階層別研修を実施する。 ・必要に応じて研修体系の見直しを行う。				
取組内容	【取組中】 ・目標管理制度及び人事評価制度を実施した。 ・階層別研修を実施した。 ・必要に応じて研修体系の見直しを行った。				
取組による効果	・役職に応じた責任と役割を明確化し、その役割に必要なとなるスキルの向上を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・目標管理制度や人事評価制度の推進により、役職に応じて必要となるスキルの向上を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・役職に応じた責任と役割を明確化し、その役割に必要なとなるスキルの向上を図るため、継続して実施する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・目標管理制度及び人事評価制度を実施する。 ・階層別研修を実施する。 ・必要に応じて研修体系の見直しを行う。